専門医更新、指導医初回・更新
2027年度申請手続きについてのご案内

※ ご提出いただく書類にはお手続きに時間のかかるものがございますので、お早めに内容をご確認ください。

※ この冊子をよくお読みになってお手続きください。
提出書類に不備がある場合は受付できませんのでご留意ください。

※ 更新申請をされない場合は、郵便、FAXまたはE-mailにてご連絡いただきますようお願いいたします。

一般社団法人 日本泌尿器科学会
専 門 医 制 度 審 議 会

〒113-0034 東京都文京区湯島2-17-15斎藤ビル5F

専門医更新と指導医初回／更新申請について

2022年度に専門医・指導医資格を取得・更新なさった先生方は、現在の認定期間が2027年3月31日までとなっております。

2027年度の専門医の更新について、以下をよくお読みいただきましてお手続きくださいますようご案内申し上げます。

受付期間

2027年1月5日（火）～3月31日（水）　＊4月中に不備事項の追加書類提出をいただきます。
不備事項の追加書類を含め、4月末日までに申請書類の提出がない場合は受付できませんのでご了承ください。

専門医更新・指導医初回および更新認定条件について

◆ 専門医更新認定条件

2022年4月1日から2027年3月31日までの5年間について

1) 専門医更新テストに合格していること
2) 日本泌尿器科学会総会、東部・中部・西日本総会のいずれかに、1回以上参加していること
3) 必要単位を50単位以上取得していること
   今回4回目以上の専門医更新の場合（会員MyWebの専門医情報で、更新回数が「3回」以上と記載）は「診療実績の証明（10単位）」の免除を選択することも可能。その場合、40単位が必要。

【2021年以前に専門医を取得された先生について】

＊　必修講習 B、任意講習 C については必須ではございません。

＊　「単位集計表」は全てが【ＯＫ】表示になっている事を確認して下さい。
［ｉ）～ⅳ）が【ＯＫ】でも「申請用単位数」の合計が【ＮＧ】の場合は、単位が不足しているので、ｅラーニングなどでご取得下さい。］

項目			必要単位数
i)	診療実績の証明		（①②のいずれか選択）
	①	NCD登録症例証	合計10単位（いずれかで満たしても可）
		手術症例一覧表（様式2）	
		症例一覧表（様式3）	
	②	免除　診療従事証明書が必要	0単位
ii)	共通講習　※1		3単位～最大10単位
	必修講習A（医療安全・感染対策・医療倫理）		各1単位以上
	必修講習B（医療制度と法律・地域医療・医療福祉制度・医療経済（保険医療等）・両立支援）		必須ではない
	任意講習C（臨床研究・臨床試験、災害医療）		必須ではない
iii)	泌尿器科領域講習　※1		15単位以上
iv)	学術業績・診療以外の活動実績　※2		3～最大15単位　参加単位の上限は6単位です
合計	i)診療実績の証明で①10単位を選択した場合		50単位
	i)診療実績の証明で②免除を選択した場合		40単位

※1　必要な講習単位（ii共通講習+iii泌尿器科領域講習）について
【必須】40%以上を、卒後教育プログラム受講で取得しなければならない。
（総会・地区総会会場、またはe-ラーニングによる）

※2　学術業績・診療以外の活動実績
学術集会の「参加」単位で取得できるのは**6単位まで**。

【2022年以降に専門医を取得された先生について】

＊ 必修講習 A, B については各 1 単位以上が必須となります。
＊ 任意講習 C については必須ではございません。
＊ 「単位集計表」は全てが【ＯＫ】表示になっている事を確認して下さい。
［ｉ）～iv）が【ＯＫ】でも「申請用単位数」の合計が【ＮＧ】の場合は、単位が不足しているので、ｅラーニングなどでご取得下さい。］

項目			必要単位数
i)	診療実績の証明		（①②のいずれか選択）
	①	NCD登録症例証	合計10単位（いずれかで満たしても可）
		手術症例一覧表（様式2）	
		症例一覧表（様式3）	
	②	免除	0単位
ii)	共通講習　※1		8単位～最大10単位
	必修講習A（医療安全・感染対策・医療倫理）		各1単位以上
	必修講習B（医療制度と法律・地域医療・医療福祉制度・医療経済（保険医療等）・両立支援）		各1単位以上
	任意講習C（臨床研究・臨床試験、災害医療）		必須ではない
iii)	泌尿器科領域講習　※1		15単位以上
iv)	学術業績・診療以外の活動実績　※2		3～最大15単位
合計	i)診療実績の証明で①10単位を選択した場合		50単位
	i)診療実績の証明で②免除を選択した場合		40単位

診療従事証明書が必要

共通A、Bは各1単位以上必須

参加単位の上限は6単位です

※1　必要な講習単位（ii共通講習+iii泌尿器科領域講習）について
【必須】40%以上を、卒後教育プログラム受講で取得しなければならない。
（総会・地区総会会場、またはe-ラーニングによる）

※2　学術業績・診療以外の活動実績
学術集会の「参加」単位で取得できるのは**6単位まで**。

📢 指導医初回/更新認定条件

- 専門医更新申請とともに学会の指導医初回／更新申請が必要です。
- 業績、指導医教育コースの受講、教育施設の所属期間については、2022年4月1日から2027年3月31日までの5年間のものに限ります。

指導医初回認定条件

1) 専門医更新認定条件を満たしていること
2) 泌尿器科に関する学術論文と学術集会での発表が合わせて5編以上あり、そのうち少なくとも1編は筆頭発表であること
3) 指導医教育コースを1コース以上受講していること
4) 3年間以上教育施設に所属（非常勤でも可）していること

指導医更新認定条件

1) 専門医更新認定条件を満たしていること
2) 泌尿器科に関する学術論文と学術集会での発表が合わせて5編以上あること
3) 指導医教育コースを1コース以上受講していること
4) 3年間以上教育施設に所属（非常勤でも可）していること

※ 今年度（2027 年度）は専門医のみ更新し、来年度以降、指導医初回のみ申請いただくことも可能です。申請する年の前年 11 月以降にご連絡をいただけましたら、申請案内をお送りいたします（例：2028 年指導医初回のみ申請希望の場合は 2027 年 11 月以降）。
今回指導医更新予定だった場合も、一度指導医資格を喪失されますので、指導医初回の申請となります。指導医初回のみ申請いただき、認定された場合、認定期間終了日は専門医と同じになります。
例：2027年専門医更新・2028年指導医初回のみ申請
専門医認定期間　2027年4月1日～2032年3月31日（5年間）
指導医認定期間　2028年4月1日～2032年3月31日（4年間）
→ 2032年に専門医・指導医とも更新

提出書類等

○…全員必要　△…場合により必要　指…指導医初回または更新申請もする場合のみ必要

		書類名	注意事項	参照
1	○	泌尿器科専門医認定更新申請書（様式 1-1）		P39
2	○	勤務実態の自己申告（様式 1-2）		P40
3	○	勤務実態自己申告書：詳細（様式 1-2 参考資料）		P41
4	○	単位集計表（様式 1-3）		P42-44
5	○	取得単位一覧表（様式 1-4）		P45
6	○	NCD 登録症例証	【i)診療実績の証明が必要な場合】 合計 10 単位分必要 （必要な書類のみ提出）	P46
		手術症例一覧表（様式 2）		P47-48
		症例一覧表（様式 3-1～7 のうち必要なページ）		P49
		診療従事証明書	【i)診療実績の証明で「免除」を選択の場合】 提出が必要	P50
7	△	共通講習受講証明書（様式 4）	「ご自身で登録した講習単位」がある場合のみ必要	P51
8	△	泌尿器科領域講習受講証明書（様式 5）	「ご自身で登録した講習単位」がある場合のみ必要	P52
9	△	泌尿器科領域学術業績等証明書（様式 6）	「ご自身で登録した学術集会参加単位」がある場合のみ必要	P53
10	指	指導医認定更新申請書	指導医初回/更新も同時に申請する場合のみ必要	P54
11	指	教育施設所属証明書	指導医初回/更新も同時に申請する場合のみ必要	P55
13	○	払込受領証（審査料・認定料等）のコピー		P56

審査料等のお振込み

・「更新のご案内」に同封した払込用紙にて入金後、受領証（または利用明細）のコピーを申請書類に添付してご提出ください。
・払込用紙を紛失された場合は、郵便局にて払込用紙（青色）をご利用の上、下記口座へお振込みください。その際には、払込用紙の通信欄に必ず【内訳】※をご記入ください。

郵便振替　00120-1-173985　一般社団法人日本泌尿器科学会

・またネットバンキングからのお振込みも可能でございます。
※振込手数料は別途ご負担ください。

【振込口座】
ゆうちょ銀行　〇一九店（ゼロイチキュウテン）　当座　0173985
一般社団法人日本泌尿器科学会（イッパンシャダンホウジンニホンヒニヨウキカガツカイ）

※可能な範囲でお名前、会員番号をご入力ください。
※申請書には振込済みだと分かるもの（画面コピーなど）を添付して下さい。

① 専門医更新のみの場合　：32,000円
② 専門医更新+指導医初回または更新の場合：47,000円

※【内訳】

	① 専門医のみ更新	② 専門医更新 ＋ 指導医初回 または更新
専門医更新審査料	¥20,000	¥20,000
専門医更新認定料	¥11,000	¥11,000
指導医審査料	なし	¥15,000
会員証アプリ管理料	¥1,000	¥1,000
合　計	¥32,000	¥47,000

書類の提出について

提出書類については「申請書類提出チェックリスト」で確認の上、日本泌尿器科学会事務局専門医制度審議会宛に郵送してください。その際、必ず簡易書留またはレターパックプラス、配達確認のできる宅急便などでご送付ください。

➢　申請書類提出チェックリスト
（専門医更新のみ：p.72）（専門医更新+指導医初回または更新：P.73）

受付通知について

・JUA academy「研修単位・業績登録」のTop「審査に関する連絡事項」にて書類受領の旨ご通知申し上げますので、ご確認ください。登録されたアドレスにも受付通知を送信致します。

➢　受付通知について（p.57）

不備事項のある場合

・提出された書類に不備事項のある場合には別途ご連絡いたしますので、速やかに追加書類等をご提出下さい。
・受付が特に集中する時期（1月、3月後半頃）は受付通知または不備のご連絡に時間がかかります。
・書類は簡易書留・レターパック・宅配便など追跡サービスのある方法でお送りいただき、ご自身で配達の確認をお願いいたします。大変多くの申請をいただいているため、お電話での対応はいたしかねますのでご了承ください。

審査の流れについて

・学会での一次審査終了後（７月予定）、日本専門医機構による二次審査があります。
その頃に機構よりマイページ登録についてのご案内がございます。
・機構の二次審査終了後、あらためて機構より通知予定ですので、各自でマイページの登録をお願い致します（任意）。
・更新認定料は学会よりまとめて納付致します。
・専門医認定証は日本専門医機構より郵送致します（9 月以降の予定）。
また同時期に、指導医認定証と申請書類は学会より郵送致します。

マイページ登録について

・日本専門医機構による管理システムに、各自で基本情報をご登録いただく予定です（任意）。
詳細については日本専門医機構からご案内があります。
・マイページ登録についてのお問合せは学会では対応しておりません。
日本専門医機構　「お問合せフォーム」よりご連絡をお願いします。
https://jmsb.or.jp/contact/privacy_contact_senmoni/

会員MyWebの専門医・指導医認定期間について

認定証等を発送する時期に、あわせて更新いたします（前後することがあります）。
それまでは更新前の認定期間が表示されています。ウェブ上で確認いただける取得単位数は、この認定期間のものです。そのため、4月以降に自動登録された単位については、認定期間が更新されるまで表示されませんのでご了承ください。

「よくあるご質問」について

下記に専門医更新に関するよくあるご質問を掲載致しましたのでご参照下さい。
・　学会 HP＞専門医制度＞専門医更新・指導医申請＞専門医更新・指導医申請＞Q&A
・　学会 HP＞よくあるご質問＞専門医制度について

書類送付先・お問い合せ先

〒113-0034 東京都文京区湯島2-17-15 斉藤ビル5F
一般社団法人日本泌尿器科学会 専門医制度審議会
FAX：03-3814-4117　　E-mail：senmoni@urol.or.jp

※　在宅勤務等を実施しておりますので、お問い合わせの際は、お手数ですがなるべくメールにていただきますようお願い申し上げます。
※　専門医の更新をしない場合は学会へメール・FAX・郵送にて連絡をお願いします（随時）

申請の流れ

専門医を更新する （あわせて指導医初回/更新申請も含む）

学会による【一次審査】

① 2027年1月5日（火）～3月31日（水）

申請手続きをする

・申請手続きの詳細について
学会ウェブサイトから「更新案内」と「申請書類」をダウンロードする

② 申請書類受付後

・不備がなかった場合
JUA academy「研修単位・業績登録」の「審査に関する連絡事項」に受付メッセージが表示され、登録アドレスにも受付通知が届く。

・不備があった場合
学会よりメールで連絡

③ 4月

・不備があった場合
追加書類を提出する

④ 5月～7月

学会にて【一次審査】

機構による【二次審査・認定】

⑤ 8月

学会から日本専門医機構へ【一次審査結果】を提出
＊指導医は学会審査のみ

⑥ 8月以降（予定）

日本専門医機構より「マイページ登録※」についての案内がある予定

⑦ 9月（予定）

日本専門医機構にて【二次審査】
⇒　承認後、機構よりメールにて案内がある

機構による【認定証】

⑧ 9月以降（予定）

更新料の納付
＊学会よりまとめて納付

⑨ 9月以降（予定）

各自で【マイページ登録※】をお願いします（任意）

⑩ 9月以降（予定）

・専門医
日本専門医機構から専門医認定証等の発送

学会による【認定証】

⑪ 9月以降（予定）

・指導医（専門医認定後）
学会から指導医認定証等の発送

会員MyWebの認定期間を更新

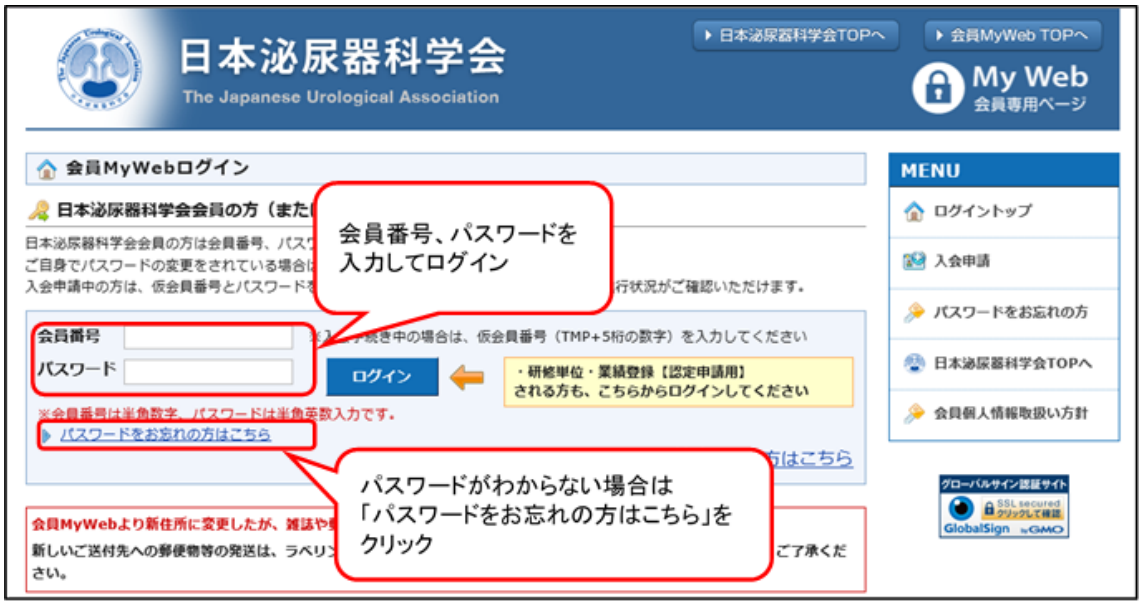
※「マイページ登録」については日本専門医機構よりご案内があります。システムについての問合せ等は学会では対応しておりませんので、機構へお問合せ頂きますようお願い致します。（機構HPにお問合せページがございます）

会員MyWeb　ログイン方法

1. 日本泌尿器科学会ウェブサイト（https://www.urol.or.jp/）
「医療関係者の皆様」トップページの「ログイン」をクリックする



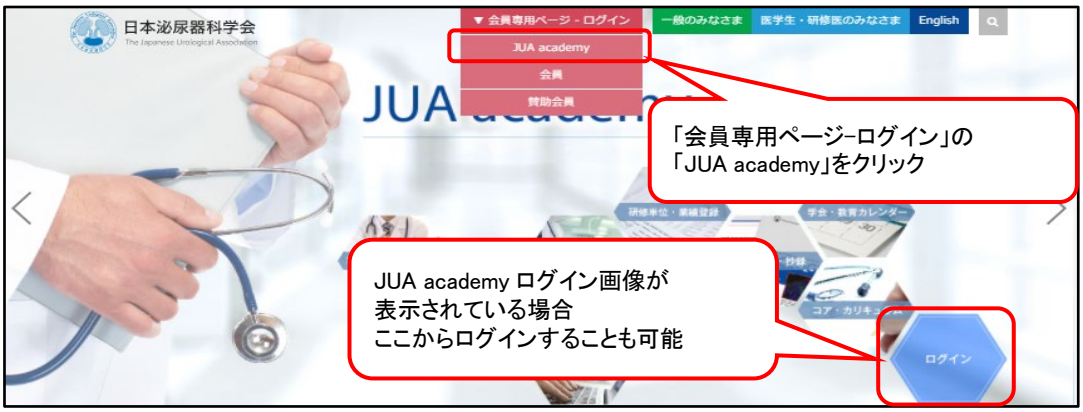
2. 会員番号、パスワードを入力して「ログイン」をクリックする

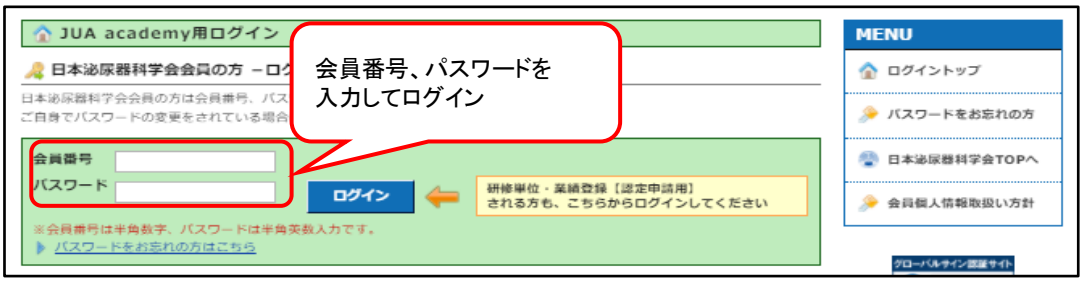


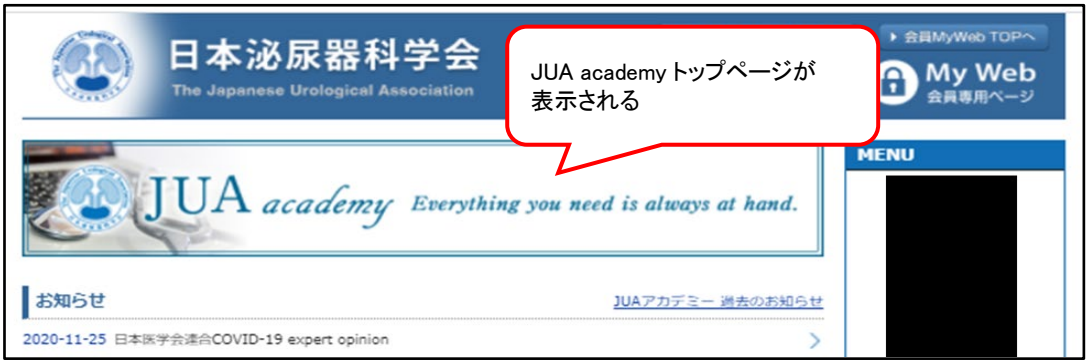
3. 会員 MyWeb トップページが表示される



※ 会員 MyWeb を経由せず直接 JUA academy にログインする場合







〈研修単位・業績登録〉　アクセス方法

1. 会員 MyWeb のトップページにある JUA academy のメニューから「研修単位・業績登録」をクリックする



または、「JUA academy TOP」をクリックして JUA academy トップページへ移動し、「研修単位・業績登録」をクリックする。



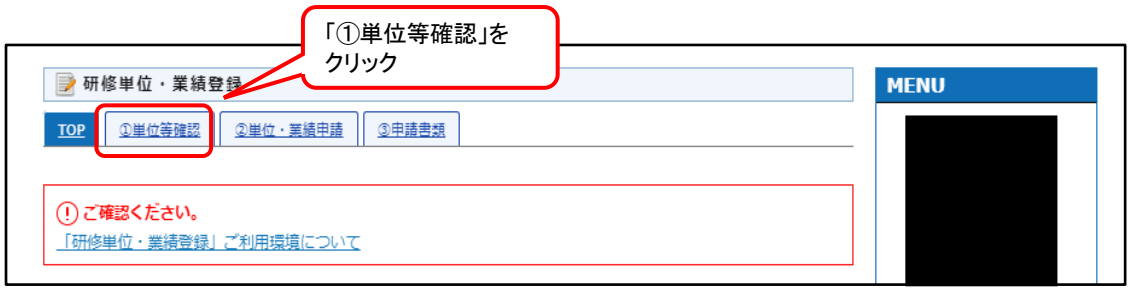
2. 〈研修単位・業績登録〉のトップページが表示される



申請条件（単位・業績等）の確認

「①単位等確認」（専門医更新用）画面の表示

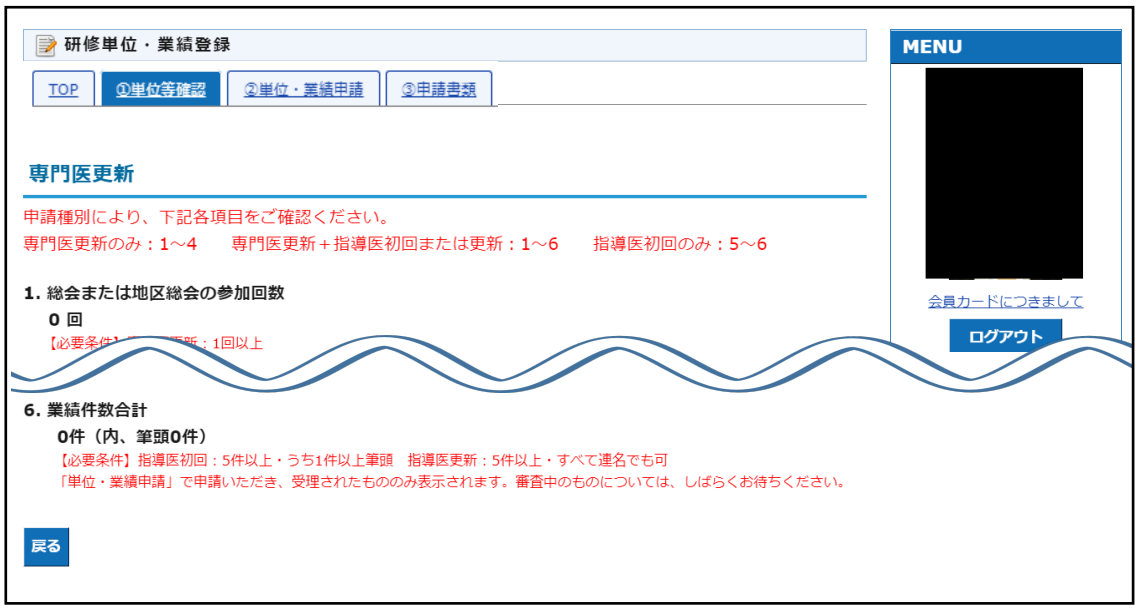
1. 〈研修単位・業績登録〉の「①単位等確認」をクリックする



2. 「更新用はこちら」をクリックする



3. 申請条件の確認画面（専門医更新用）が表示される



「①単位等確認 」画面で取得状況を確認する

「① 申請等確認」画面では、下記1～6について確認することができます。
申請種別により、確認が必要な項目が異なります。

○…確認が必要　×…確認は不要

	確認事項	専門医 更新のみ	専門医更新 ＋ 指導医 初回/更新
1	総会または地区総会の参加回数	○	○
2	取得単位数および認定 更新 申請用単位数	○	○
3	ii)共通講習＋iii)泌尿器科領域講習の講習単位内訳	○	○
4	受講証等の証明書の提出が必要な単位の登録	○	○
5	指導医教育コースの受講回数	×	○
6	業績件数合計	×	○

1. 総会または地区総会の参加回数

専門医更新条件
総会または地区総会に 1 回以上参加



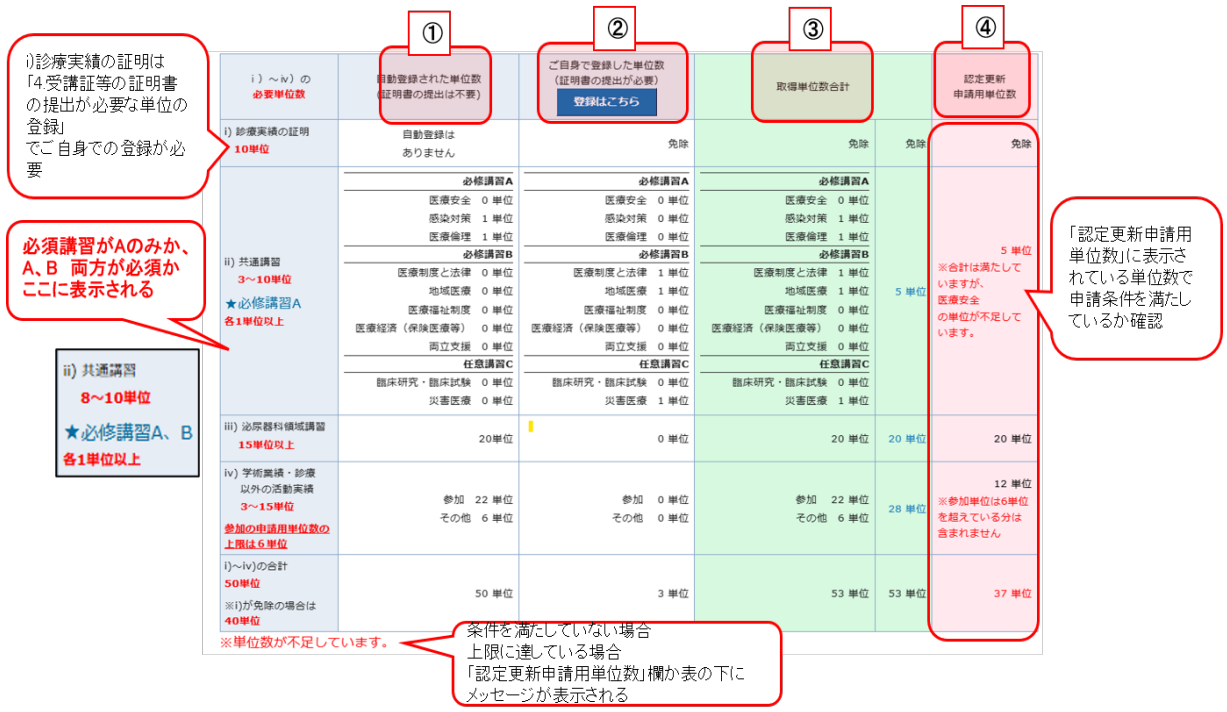
- 現地参加の場合、会員アプリやカードまたはQRコード（会期中のみ有効なコード）で自動登録した回数を表示します。
- ウェブ参加の場合、下記条件のすべてを満たすと自動登録・参加回数として表示します。
  ① 参加登録後にウェブ閲覧システムにログインする。
  ② 視聴ログが確認できる（何らかの発表データを閲覧したことが確認できる）
- 総会、地区総会、地方会の参加単位については、自動登録されたもののみ単位として認定されます。参加証原本提出による単位認定は一切行いませんのでご注意ください。

2.　取得単位数および認定 更新 申請用単位数

専門医更新条件			
i)	診療実績の証明		（①②のいずれか選択）
	①	NCD 登録症例証 手術症例一覧表（様式 2） 症例一覧表（様式 3）	合計 10 単位 （いずれかで満たしても可）
		免除（要　診療従事証明書）	0 単位
ii)	共通講習　※1		①3単位～最大10単位 ②8単位～最大10単位
	必修講習 A（医療安全・感染対策・医療倫理）		各 1 単位以上
	必修講習B （医療制度と法律・地域医療・医療福祉度・医療経済（保険医療等）・両立支援）		①【2021年以前に専門医を取得した先生】→**必須ではない** ②【2022以降に専門医を取得した先生】→**必須**
	任意講習C（臨床研究・臨床試験、災害医療）		必須ではない
iii)	泌尿器科領域講習　※1		15 単位以上
iv)	学術業績・診療以外の活動実績　※2		3～上限 15 単位
合計	i)診療実績の証明で①10 単位を選択した場合		50 単位
	i)診療実績の証明で②免除を選択した場合		40 単位

※1　必要な講習単位（ii 共通講習+iii 泌尿器科領域講習）について
【必須】40%以上を、卒後教育プログラム受講で取得しなければならない。
（総会・地区総会会場、または e-ラーニングによる）

※2　学術業績・診療以外の活動実績
学術集会の「参加」単位で取得できるのは 6 単位まで。



① 自動登録された単位数

次の単位を表示します。

- 総会、地区総会、地方会の会場で、会員アプリやカードまたはQRコードで登録された参加単位および講習単位（講習単位は総会・地区総会のみ）。
- 一部の関連学会（日本泌尿器内視鏡学会、日本小児泌尿器科学会、日本排尿機能学会、日本老年泌尿器科学会等）で、会員アプリやカードで登録された参加単位。
- JUA academyの「e-ラーニング」「JUA Webinar」の講習単位（テストに合格して受講完了したもののみ）。
- 「単位・業績申請」で申請して受理された業績発表・査読単位。

② ご自身で登録した単位数

- 「4.受講証等の証明書の提出が必要な単位の登録」で登録した単位等を表示します。
  - ➢ 受講証等の証明書の提出が必要な単位の登録（p.18）
- 「②単位・業績申請」で申請した単位は、ここには表示しません。受理されると、①自動登録された単位数に表示します。

取得単位数合計

- ①自動登録された単位数　②ご自身で登録した単位数 の合計を表示します。
- 単位数（青い数字）をクリックすると、詳細（内訳）を確認できます。



2. 取得単位数および認定 更新 申請用単位数

「取得単位数合計」の単位数（青字表記）をクリックすると、詳細が見られます。
※単位が不足している項目は赤字で表示されます

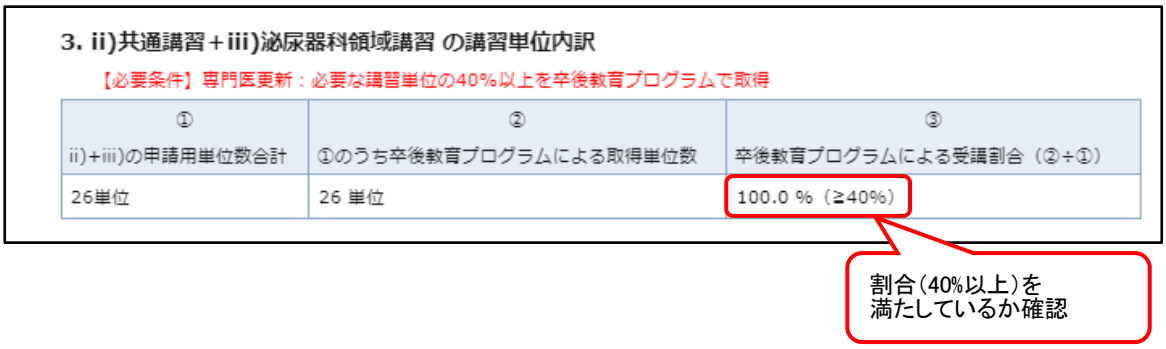
i）～iv）の 必要単位数	自動登録された単位数 (証明書の提出は不要)	ご自身で登録した単位数 (証明書の提出が必要) 登録はこちら			
i) 診療実績の証明 10単位	自動登録は ありません				
ii) 共通講習 3~10単位 ★必修講習A 各1単位以上	必修講習A 医療安全　0 単位 感染対策　1 単位 医療倫理　1 単位 必修講習B 医療制度と法律　0 単位 地域医療　0 単位 医療福祉制度　0 単位 医療経済（保険医療等）　0 単位 両立支援　0 単位 任意講習C 臨床研究・臨床試験　0 単位 災害医療　0 単位	必修講習B 医療制度と法律　1 単位 地域医療　1 単位 医療福祉制度　0 単位 医療経済（保険医療等）　0 単位 両立支援　0 単位 任意講習C 臨床研究・臨床試験　0 単位 災害医療　1 単位	必修講習B 医療制度と法律　1 単位 地域医療　1 単位 医療福祉制度　0 単位 医療経済（保険医療等）　0 単位 両立支援　0 単位 任意講習C 臨床研究・臨床試験　0 単位 災害医療　1 単位	5 単位	5 単位 ※合計は満たしていますが、医療安全の単位が不足しています。
iii) 泌尿器科領域講習 15単位以上	20単位	0 単位	20 単位	20 単位	20 単位

④ 認定更新申請用単位数

- ③取得単位数合計のうち、認定更新申請に必要な単位を表示します。この欄に表示されている単位数で、申請条件を満たしているか確認してください。
- 各項目の上限を超えている場合は、必要な分のみを申請用単位数として表示しています。
- ②ご自身で登録した単位数等については、申請書類とあわせて各種証明書を添付いただくことで単位（または免除）となります。登録のみでは単位（または免除）にはなりません。システムで条件を満たしていると判定される場合でも、証明書が添付されていない場合は単位（または免除）になりませんのでご注意ください。
- 条件を満たしていない場合や上限に達している場合は、この欄か、または表の下に赤字でメッセージを表示します。

3. ii)共通講習＋iii)泌尿器科領域講習 の講習単位内訳

専門医更新条件
必要な講習単位の 40%以上を卒後教育プログラム受講で取得 （総会・地区総会会場、または e-ラーニングによる）



3. ii)共通講習＋iii)泌尿器科領域講習 の講習単位内訳

【必要条件】専門医更新：必要な講習単位の40%以上を卒後教育プログラムで取得

① ii)+iii)の申請用単位数合計	② ①のうち卒後教育プログラムによる取得単位数	③ 卒後教育プログラムによる受講割合（②÷①）
26単位	26 単位	100.0 %（≧40%）

割合(40%以上)を
満たしているか確認

① ii)+iii)の申請用単位数合計
「2.取得単位数および認定 申請用単位数」の「認定更新申請用単位数」に表示されているii)共通講習とiii)泌尿器科領域講習の合計を表示します。これを「必要な講習単位」としています。

② ①のうち卒後教育プログラムによる取得単位数
①に表示した「必要な講習単位」のうち、卒後教育プログラム（総会・地区総会会場、またはe-ラーニング）受講により取得した単位数を表示します。

③ 卒後教育プログラムによる受講割合（②÷①）
- 必要な講習単位のうち卒後教育プログラムで取得した割合を表示しています。
- 40%未満の場合は、卒後教育プログラムを受講して、卒後教育プログラム受講による割合が40%を超えるようにしてください。

受講	カウント方法	注意点
卒後教育プログラム（会場）	卒後教育プログラム	同じプログラムを会場と e-ラーニングの両方で受講した場合、e-ラーニング分は単位になりません。
卒後教育プログラム（e-ラーニング）	卒後教育プログラム	
JUA Webinar	その他	
総会企画プログラム	その他	
ご自身で登録した講習	その他	

※ e-ラーニングの上限（30%）は撤廃されました。

※ e-ラーニングで受講した卒後教育プログラムも、「卒後教育プログラムによる受講」としてカウントされるようになりました。

4. 受講証等の証明書の提出が必要な単位の登録

専門医更新条件	
i) 診療実績の証明	全員 登録が必要 （単位または免除の登録）
ii) 共通講習 iii) 泌尿器科領域講習 iv) 学術業績・診療以外の活動実績	自動登録された単位のみでは不足する場合のみ登録が必要

- ここで登録した単位（または免除）を、「取得単位数および認定 更新 申請用単位数」の「ご自身で登録した単位数」に表示します。
- 登録のみでは単位（または免除）にはなりません。登録とあわせて申請時に必要書類を提出いただくことで単位（または免除）となります。

i) 診療実績の証明

10単位分の登録① または 免除② について登録してください。

① 単位（10単位分）

- 5年間のうち1年間など一部期間で満たしても構いません。
- 「NCD登録症例証」「手術症例一覧表」「症例一覧表」の合計で10単位分を登録してください。いずれかで10単位分を満たしても構いません。

【例】10 単位の組み合わせ

例	項目	症例数	単位数
1	NCD 登録症例証のみ	103 例	10 単位
2	NCD 登録症例証	68 例（6 単位）	10 単位
	手術症例一覧表	40 例（4 単位）	
3	手術症例一覧表のみ	100 例	10 単位
4	手術症例一覧表	70 例（7 単位）	10 単位
	症例一覧表（尿路性器感染症）	30 例（3 単位）	
5	症例一覧表（尿路性器感染症）のみ	100 例（10 単位）	10 単位
6	症例一覧表（尿路性器感染症）	60 例（6 単位）	10 単位
	症例一覧表（慢性腎不全）	40 例（4 単位）	

(A) NCD登録症例証

- NCD登録症例証に記載されている手術数を確認のうえ、単位数を登録してください。
  - ➢ NCD登録症例証について（p.58）
- 10例で1単位です。
- あわせて「NCD 登録症例証」の提出が必要です。

(B) 手術症例一覧表（様式2）

・ 手術症例一覧表に記載した単位数を登録してください。
  ➢ 手術症例一覧表（p.47）
・ 10例毎で1単位です。
・ あわせて「手術症例一覧表（様式2）」の提出が必要です。

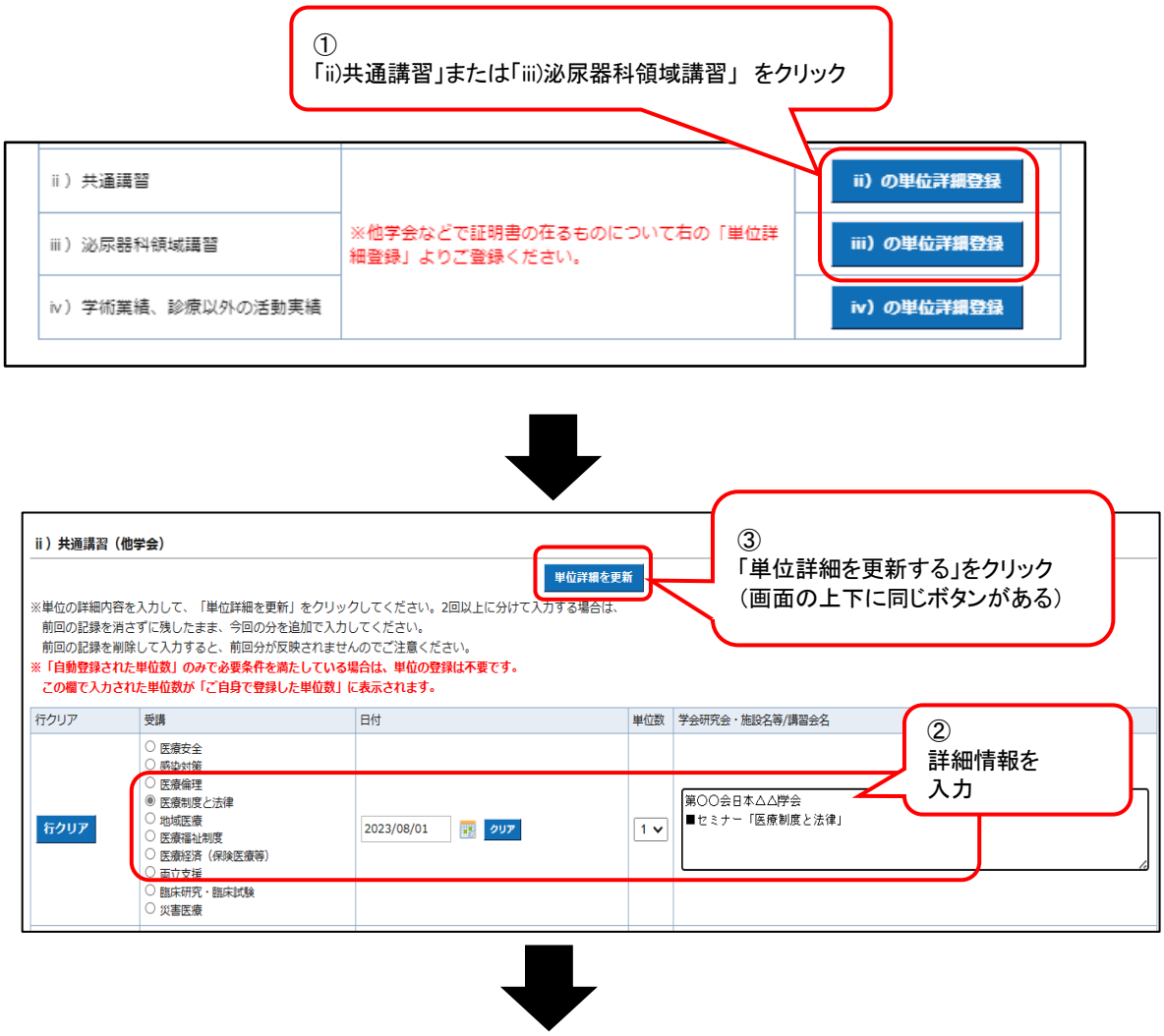
(C) 症例一覧表（様式3）
・ 症例一覧表に記載した単位数を登録してください。
  ➢ 症例一覧表（p.49）
・ 1領域、10例毎で1単位です。
・ あわせて「症例一覧表（様式3）」の提出が必要です。

② 免除
・ 専門医更新回数が3回以上の場合のみ、免除のチェックボックスが表示されます。
・ あわせて「診療従事証明書」の提出が必要です。「診療従事証明書」を提出できない場合、免除は選択できません。診療実績の証明（10単位）が必要です。
  ➢ 診療従事証明書（p.50）



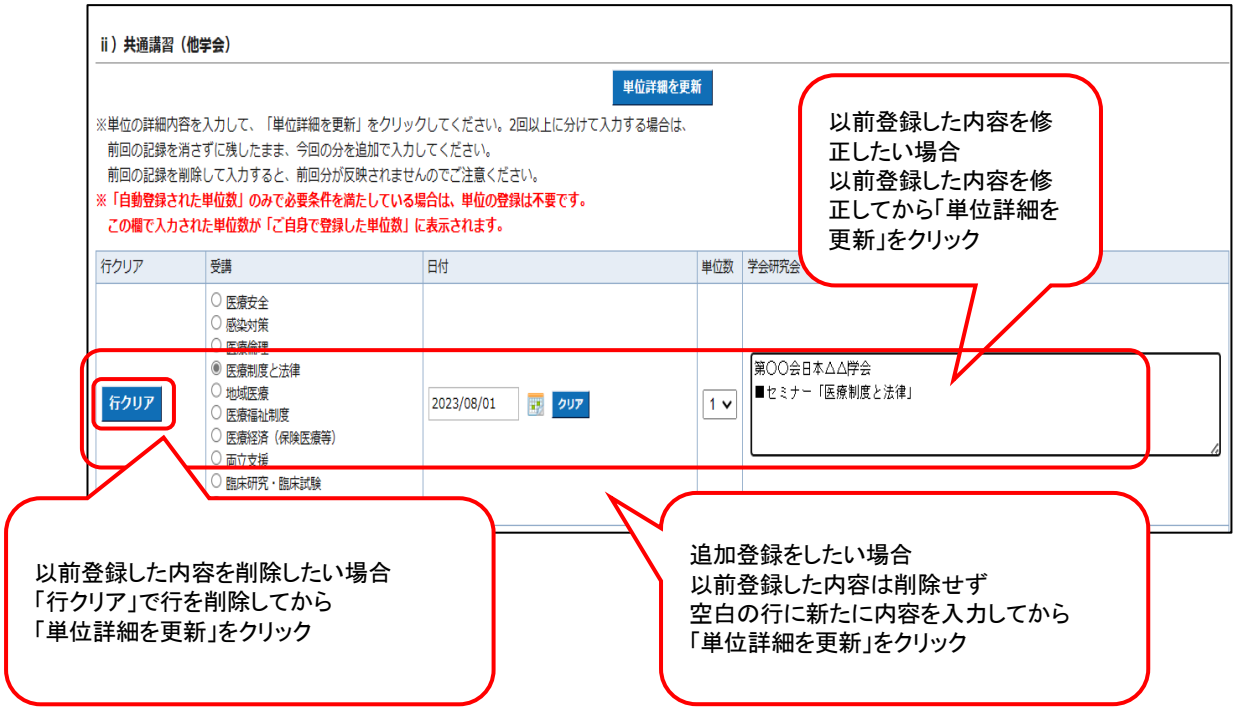
ii)　共通講習・iii)泌尿器科領域講習

- 自動登録された単位のみでは不足する場合のみ、登録してください。
- 登録できるのは、受講単位が認められている講習に限ります。



登録後、もう一度「ii)（または iii）の単位詳細登録」をクリックすると、前回登録した内容が表示されます。

- 前回登録した内容を**削除**したい場合は、該当する行の左側にある「行クリア」をクリックして情報を消した後、「単位詳細を更新」をクリックしてください。
- 前回登録した内容を**修正**したい場合は、該当する箇所を修正した後、「単位詳細を更新」をクリックしてください。
- 前回登録した内容とあわせて他の情報も**追加登録**したい場合は、前回登録した内容を削除しないで、その下の空白の行に情報を追加入力後、「単位詳細を更新」をクリックしてください。前回登録した情報を削除して入力すると、前回分が反映されませんのでご注意ください。



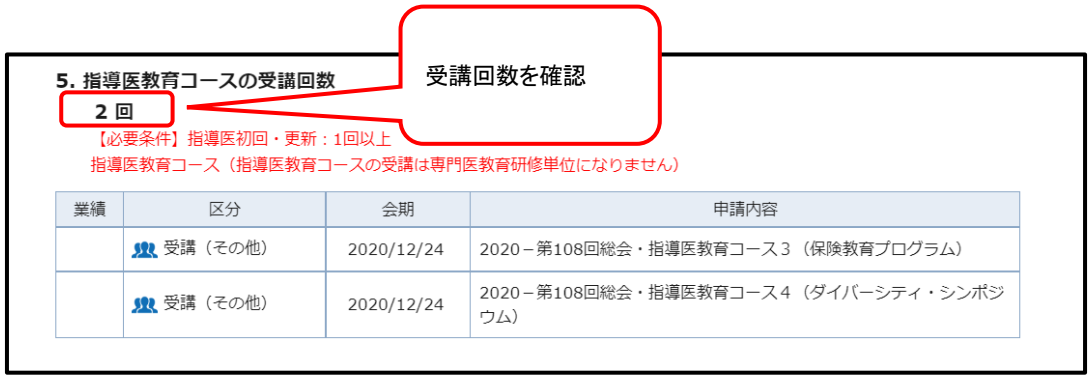
iv） 学術業績・診療以外の活動実績

- 自動登録された単位のみでは不足する場合のみ、登録してください。
- 学会・研究会への参加による単位については、「専門医教育研修単位一覧」に記載された学会または研究会が主催、運営している定例学術集会のものについて認められます。共催・講演などのものや講演会などについては認められません。
  - ➢ 泌尿器科専門医教育研修単位一覧（2026年4月時点）
    学会ウェブサイト　ホーム→専門医制度→研修単位・業績発表→　専門医申請のための研修単位について→専門医教育研修単位一覧
    （https://www.urol.or.jp/lib/files/specialist/system/list_tan-i_202606.pdf）

- 登録・削除・修正・追加登録方法は、ii)共通講習・iii)泌尿器科領域講習と同じです。

5. 指導医教育コースの受講回数

指導医初回条件
1 回以上受講
指導医更新条件
1 回以上受講

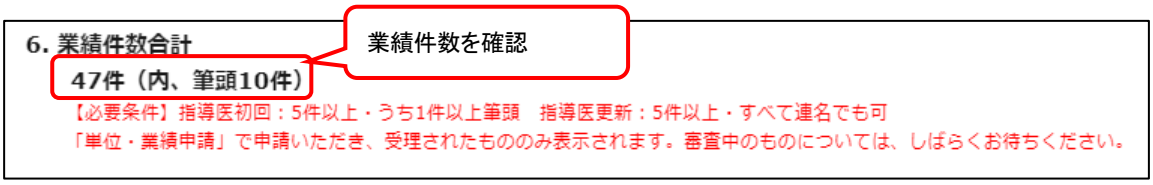


- 現地受講の場合、会員証アプリやカード、または QR コード（会期中のみ有効なコード）で自動登録した回数を表示します。
- 自動登録の手続きをしていない場合、指導医教育コースの受講記録となりません。
- ウェブ受講の場合、下記条件のすべてを満たすと受講回数として自動登録・表示します。）
  ① セッション開始から終了まで視聴する
  ② セッション終了後、設問／アンケートに回答する
- JUA Webinarにて第113回日泌総会で実施された指導医教育コースが受講可能となっております。（公開期限：2027/3/31まで）
- 指導医受講回数がない（0 回）場合、今回は指導医を申請いただけません。今年度は専門医更新のみ申請いただけます。
  来年度以降、指導医初回条件を満たせましたら、指導医初回のみ申請いただけます。申請する年の前年 11 月以降にご連絡をいただけましたら、申請案内をお送りいたします。今回指導医更新予定だった場合も、一度指導医資格を喪失されますので、指導医初回の申請となります。指導医初回のみ申請いただき、認定された場合、認定期間終了日は専門医と同じになります。

  例：2027 年専門医更新、2028 年指導医初回のみ申請・認定の場合
  2027 年 11 月以降に学会事務局へ「指導医初回のみ申請希望」と連絡
  専門医認定期間　2027 年 4 月 1 日～2032 年 3 月 31 日（5 年間）
  指導医認定期間　2028 年 4 月 1 日～2032 年 3 月 31 日（4 年間）
  →　2032 年に専門医・指導医とも更新

6.　業績件数合計

指導医初回条件
5 件以上　うち 1 件以上筆頭
指導医更新条件
5 件以上　（すべて連名でも可）



・　「単位・業績申請」で申請し、受理された件数を表示します。

審査中のものについては、しばらくお待ちください。
大変多くの申請をいただくため、審査に時間がかかる場合があります。今年度申請の方から書類受付期間中に間に合うように優先して審査をしますので、ご了承下さい。

学会発表・論文発表・論文査読の申請について

学会発表・論文発表・論文査読の単位数と申請について

＊iv）は学術業績・診療以外の活動実績

＊登録は「②単位・業績申請」タブからとなります。

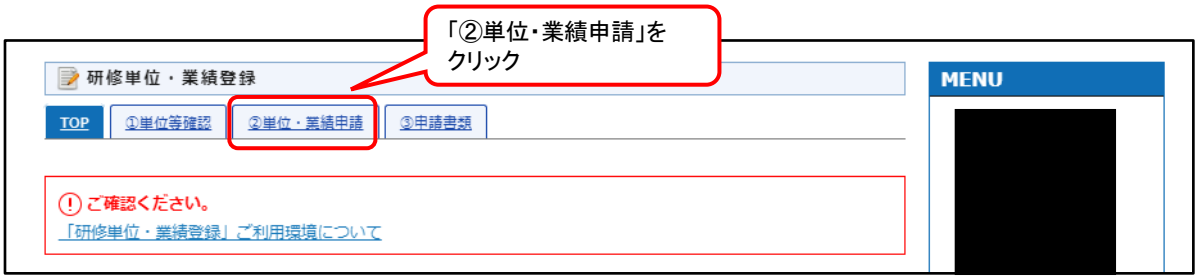
業績	種類	1件の単位数	専門医更新	指導医初回	指導医更新
学会発表	筆頭	1単位	必須ではない。	業績件数として5件必要。内、1件は筆頭。	業績件数として5件必要。
	連名	0単位			
論文発表	筆頭	2単位			
	連名	1単位			
査読		1単位			

- 自動登録された単位や既に受理された業績で条件を満たしていない場合のみ、申請書類を作成する前に「単位・業績申請」で必要分を申請してください。満たしている場合は、現状のまま申請書類を作成してください。
- 大変多くの申請をいただくため、審査に時間がかかる場合があります。今年度申請の方から優先して書類受付期間内に完了するよう審査をしますので、ご了承ください。
- 審査時間短縮のため、必要数を超えた申請分については審査しない場合がありますのでご了承ください。申請に必要な数が満たせている場合は、「審査中」のものがあっても現状のままで申請書類を作成しご提出ください。
- 発表の連名は単位になりません。件数としてはカウントされます。
- 査読も業績件数に含まれます（筆頭、連名の区別なし）。
- 「②単位・業績申請」で申請登録できるのは発表、論文、査読の業績のみです。
- 業績が不足しているという不備連絡にご対応頂く場合、4月1日以降はシステム上での業績登録が出来なくなるため、必ず「業績一覧表」に入力したものをご提出下さい。
- 同一の講習会等で座長と演者として発表された場合、どちらか一方でご申請下さい。

学会発表・論文発表・論文査読の申請方法

- 学会・研究会の発表による単位・業績については、「専門医教育研修単位一覧」(※)に記載された学会または研究会が主催、運営している定例学術集会のものについて認められます。共催・講演などのものや講演会などについては認められません。
  - ➢ 専門医教育研修単位一覧（p.21）
- 学術誌・著書等の発表による単位・業績については、泌尿器科関連論文が認められます（院内雑誌は除く）。

1. 〈研修単位・業績登録〉の「②単位・業績申請」をクリックする



2. 「入力欄の追加」で入力欄を表示し、内容を入力する



※　例：学会発表の記録

①　「学会・研究会検索/選択」をクリックして学会名を選択・入力する

- 「教育研修単位一覧」に記載されている学会・研究会名の一部は、リストから選択することができます。
- リストにない学会・研究会名については、「その他学会・研究会名称」欄に「回数」と「学会・研究会名称」を入力してください。



② 「開催地」をプルダウンから選択する
- 海外の場合はあわせて地名を入力してください。
- ウェブ開催のみで会場がない場合、プルダウンから「Web」を選択してください。

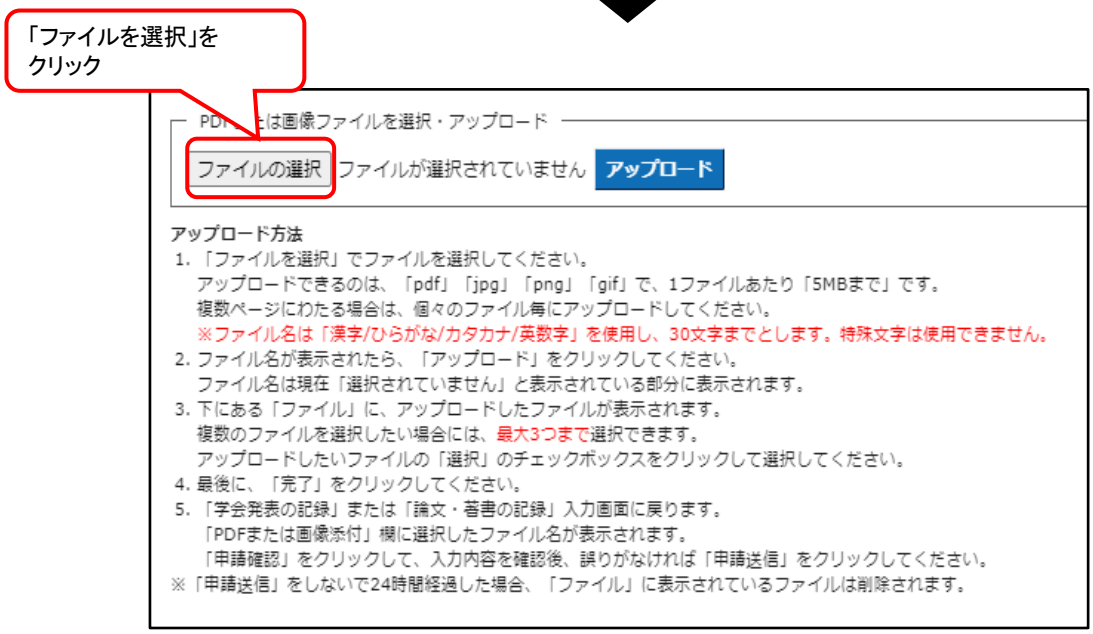
③ 「発表年月日」を入力する
- オンデマンド開催のみで発表日が 1 日ではない場合、オンデマンド開催期間中の初日の日付を入力してください。

④ 「発表区分」を入力する

⑤ 「演題」を入力する

⑥ 「アップロード/選択」をクリックして「学術集会名・開催地・発表年月日・演題名・演者名がわかるページ」の PDF または画像を添付する
- 添付がない場合は、後日確認書類の提出を求められる場合があります。

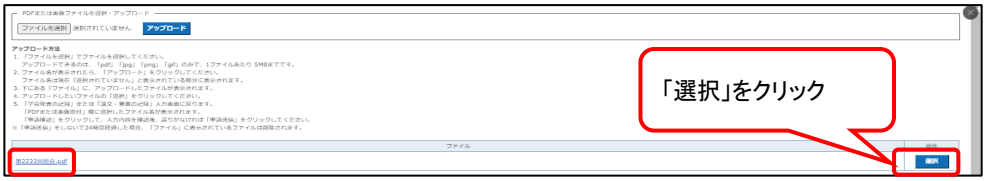


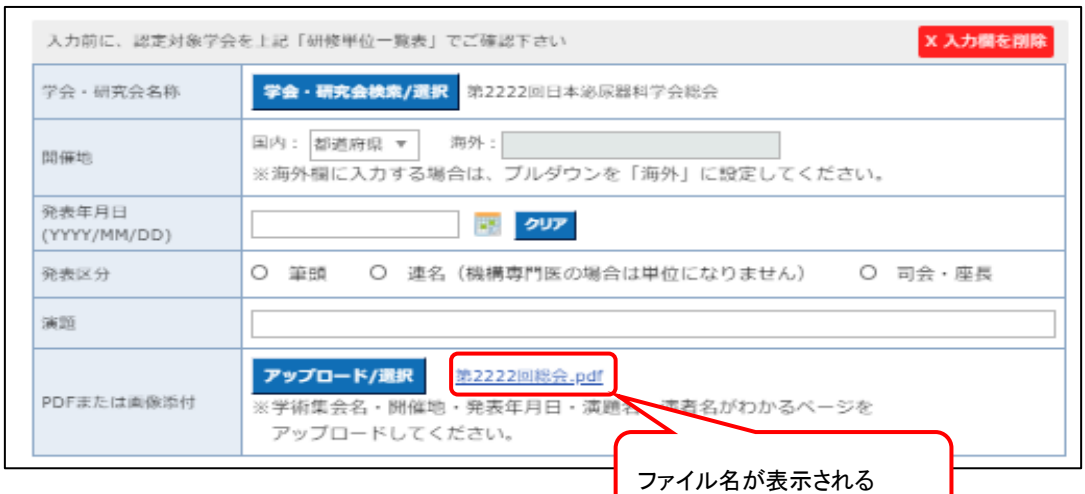


※お使いのブラウザの設定等により表示が異なります









⑦　「申請確認」をクリックする





⑧　「審査状況」に表示される
表示されていない場合、申請が完了していません（「申請確認」の後、「申請送信」をしていないなど）。



⑨　審査後、受理された業績は「申請内容」のリストからは消える。
受理された業績を確認したい場合は「③申請書類等」＞「5.取得単位一覧表（様式 1-4）」＞「ⅳ」学術業績・診療以外の活動実績」に掲載されているので、そちらを確認して下さい。

登録情報の確認と編集

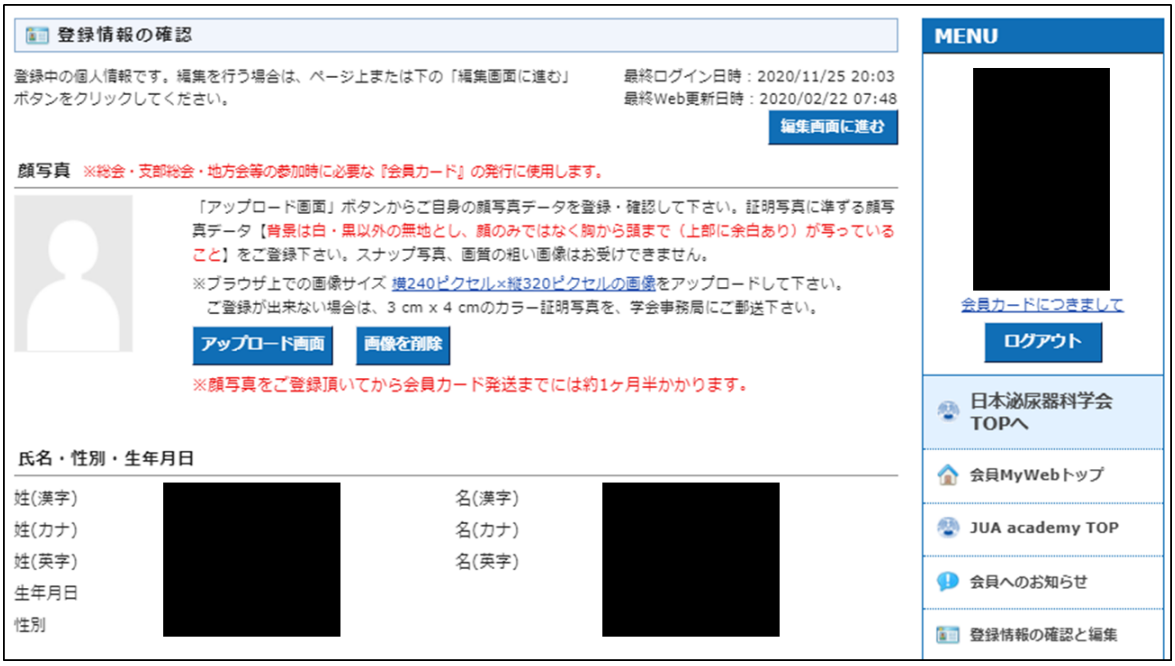
- 申請書類の一部項目は、会員MyWebに登録されている情報を利用して自動的に入力されます。自動入力の部分に修正が必要な場合は、各種書類を作成する前に登録の修正を行い、手書きでの修正はお控え下さい。
- 自宅・勤務先・送付先は申請時の情報を登録してください。申請後にお引越し等があった場合は、その時点で登録情報を変更してください。認定証や申請書類は登録されている住所宛に送付されます。なお、ラベリング作業等の関係により変更前の住所宛に送付されることもありますのでご了承ください。

登録情報の確認

1. 会員MyWebの「登録情報の確認と編集」をクリックする
   - ➢ 会員MyWebログイン方法（p.9）

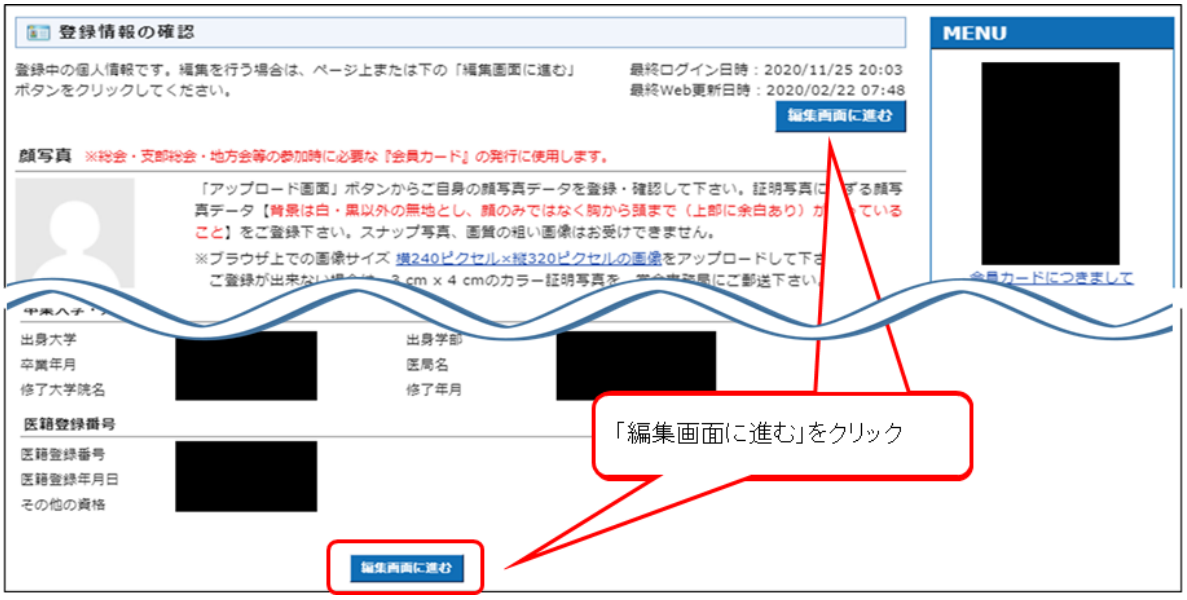


2. 登録情報が表示される

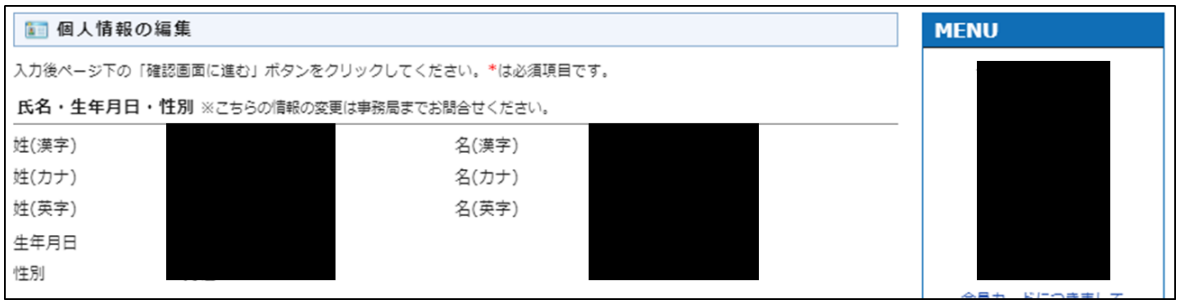


登録情報の修正

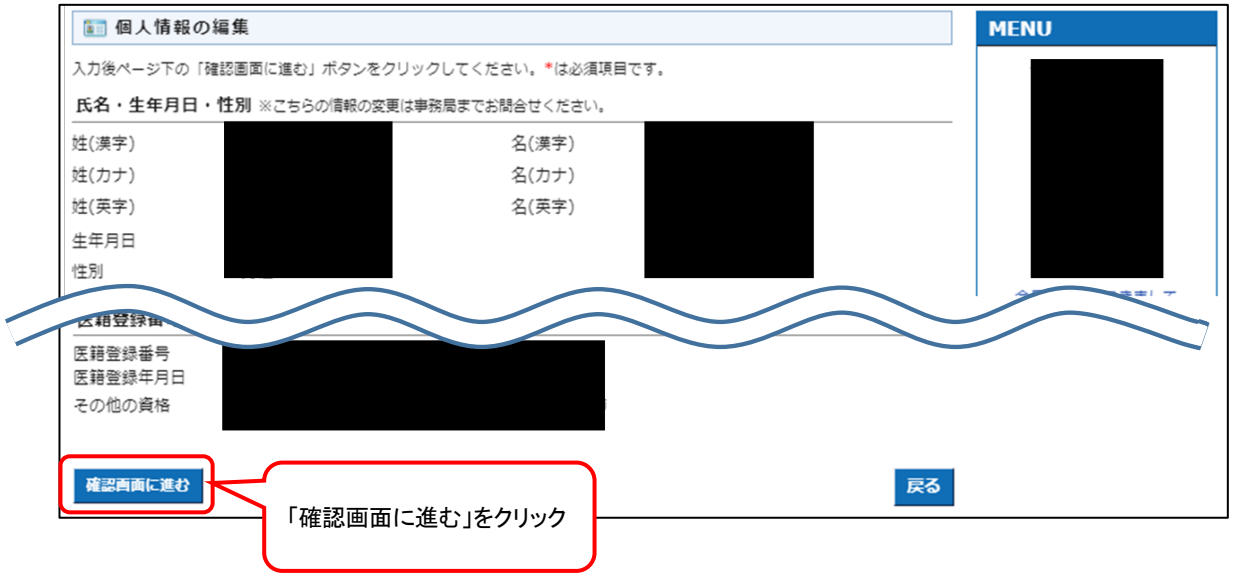
1. 「登録情報の確認」画面の右上か下部にある「編集画面に進む」をクリックする



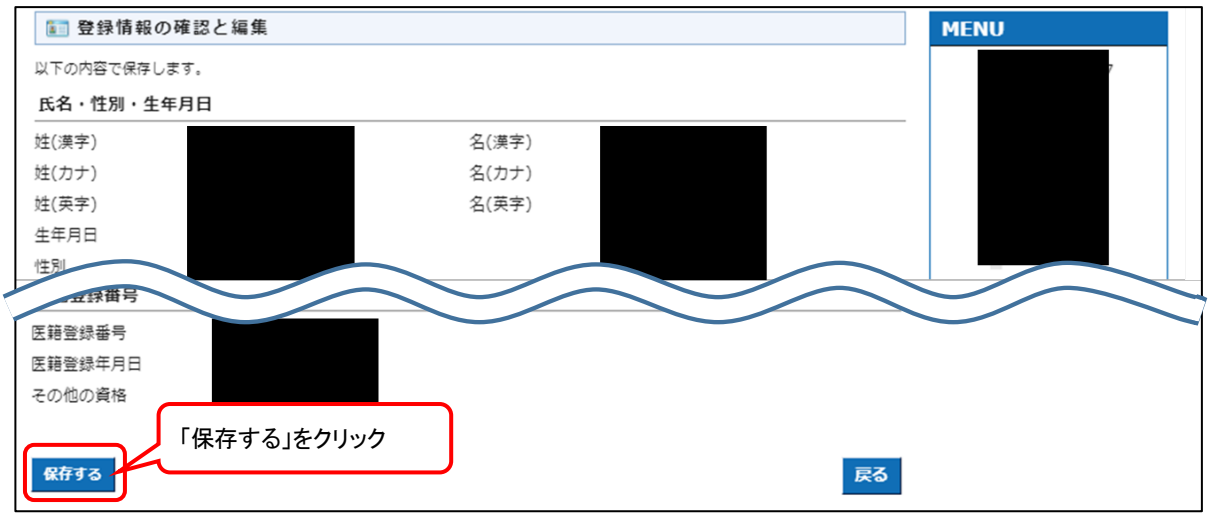
2. 「個人情報の編集」画面が表示される



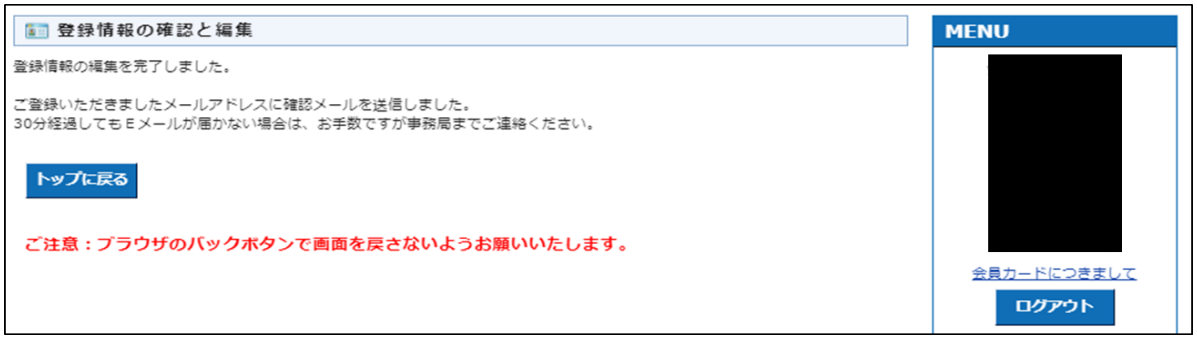
3. 修正後、画面下部にある「確認画面に進む」をクリックする
医籍登録番号など、先生ご自身で修正できない項目を修正したい場合は、学会事務局へメール（office@urol.or.jp）でご連絡ください。



4. 内容に誤りがなければ、ページ下部にある「保存する」をクリックする



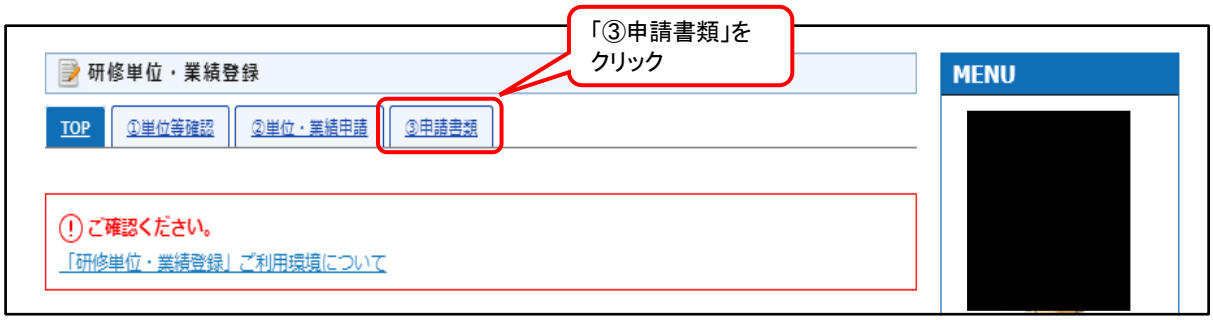
5. 登録完了画面が表示される


登録情報の確認と編集
登録情報の編集を完了しました。
ご登録いただきましたメールアドレスに確認メールを送信しました。
30分経過してもEメールが届かない場合は、お手数ですが事務局までご連絡ください。
トップに戻る
ご注意：ブラウザのバックボタンで画面を戻さないようお願いいたします。
MENU
[redacted]
会員カードにつきまして
ログアウト

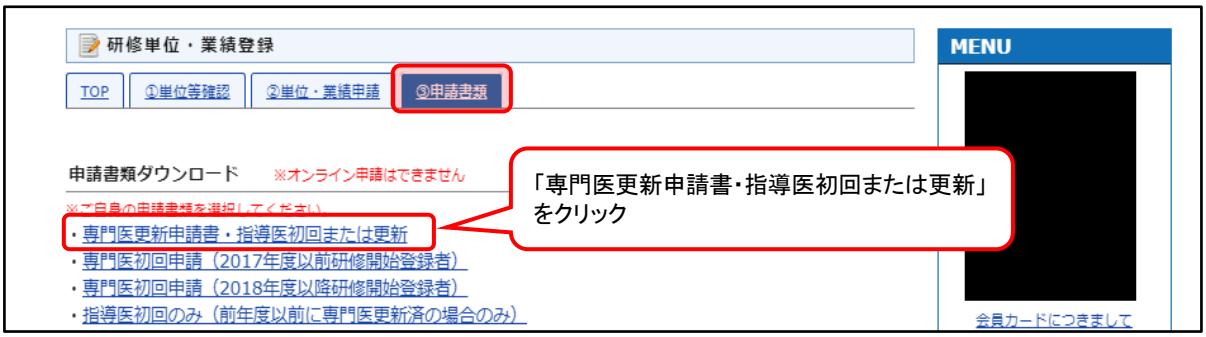
学位、勤務形態情報の登録

「学位、勤務形態情報」の登録が完了しないと、申請書類が表示されず、ダウンロードすることができません。登録完了後、申請書類一覧が表示されます。

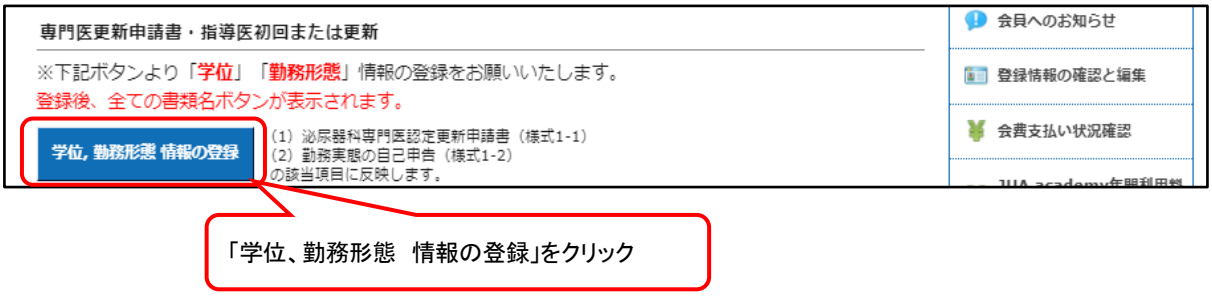
1. 〈研修単位・業績登録〉の「③申請書類」をクリックする
   - ➢ 研修単位・業績登録アクセス方法（p.11）



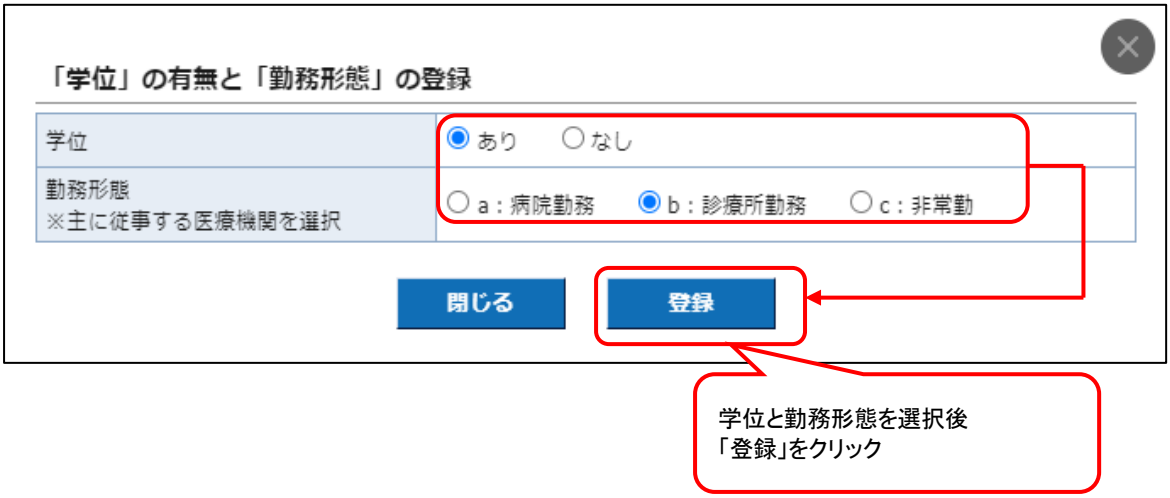
2. 「専門医更新申請書・指導医初回または更新」をクリックする



3. 「学位、勤務形態情報の登録」をクリックする



4. 学位と勤務形態を選択後「登録」をクリックする



5. 確認画面が表示される
内容に誤りがなければ「OK」をクリックしてください。
登録後、同じ手順で修正することもできます。



6. 申請書類一式が表示される

専門医更新申請書・指導医初回または更新

※下記ボタンより「**学位**」「**勤務形態**」情報の登録をお願いいたします。
登録後、全ての書類名ボタンが表示されます。

学位, 勤務形態 情報の登録

（1）泌尿器科専門医認定更新申請書（様式1-1）
（2）勤務実態の自己申告（様式1-2）
の該当項目に反映します。

		書類名	備考
1	○	泌尿器科専門医認定更新申請書（様式1-1）	
2	○	勤務実態の自己申告（様式1-2）	
3	○	勤務実態自己申告書：詳細（様式1-2参考資料）	
4	○	単位集計表（様式1-3）	
5	○	取得単位一覧表（様式1-4）	
6	△	NCD登録症例証 ※NCD-Personのサイトへ移動します。 NCD登録症例データの利用について 手術症例一覧表（様式2） 症例一覧表（様式3） 診療従事証明書	「受講証等の証明書の提出が必要な単位の登録」で登録した項目に対応する書類を提出してください。 ※i)診療実績の証明を提出する場合 単一又は併せて１０単位になるようにあらかじめ単位を登録のうえ、必要な書類を提出。 ※免除を選択する場合 あらかじめ免除を登録のうえ、診療従事証明書を提出。
7	△	共通講習受講証明書（様式4）	「受講証等の証明書の提出が必要な単位の登録」で登録した講習がある場合のみ、該当する講習の受講証を添付してご提出ください。
8	△	泌尿器科領域講習受講証明書（様式5）	「受講証等の証明書の提出が必要な単位の登録」で登録した講習がある場合のみ、該当する講習の受講証を添付してご提出ください。
9	△	泌尿器科領域学術業績等証明書（様式6）	「受講証等の証明書の提出が必要な単位の登録」で登録した学術集会がある場合のみ、該当する学術集会の参加証を添付してご提出ください。
10	指	指導医認定更新申請書	下記ボタンで申請種別を選択してから、ダウンロードしてください。 ○ 専門医更新および指導医初回 ○ 専門医更新および指導医更新
11	指	教育施設所属証明書	

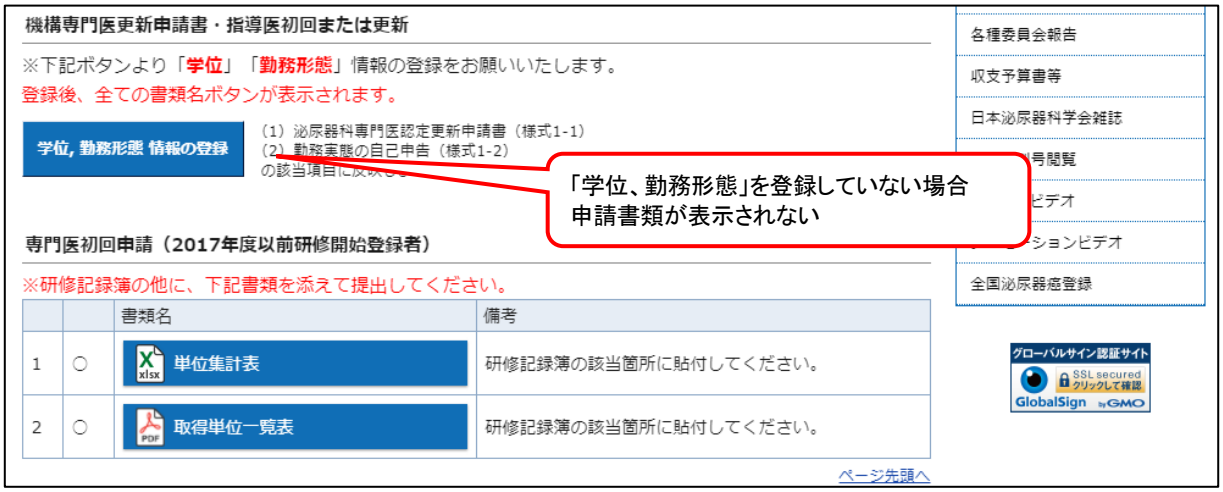
ページ先頭へ

申請書類の作成

申請書類の表示

「学位、勤務形態情報の登録」を行うと、表示されます。登録が完了していない場合、表示されません。

- 学位、勤務形態情報の登録（p.35）



Excelファイルの書類全般に関する注意

- 白色セル（色なし）は、ロックがかかっており、編集することができません。下記いずれかの情報を表示しているか、または署名が必要なセルです。登録情報に誤りがある場合は、書類作成前に登録情報を修正してください。
  ① 会員MyWebの登録情報
  ② 〈研修単位・業績登録〉「①単位等確認」で確認できる単位等の情報
  ③ 〈研修単位・業績登録〉「③申請書類」の「学位、勤務形態情報の登録」の登録情報
  ④ 署名が必要な項目

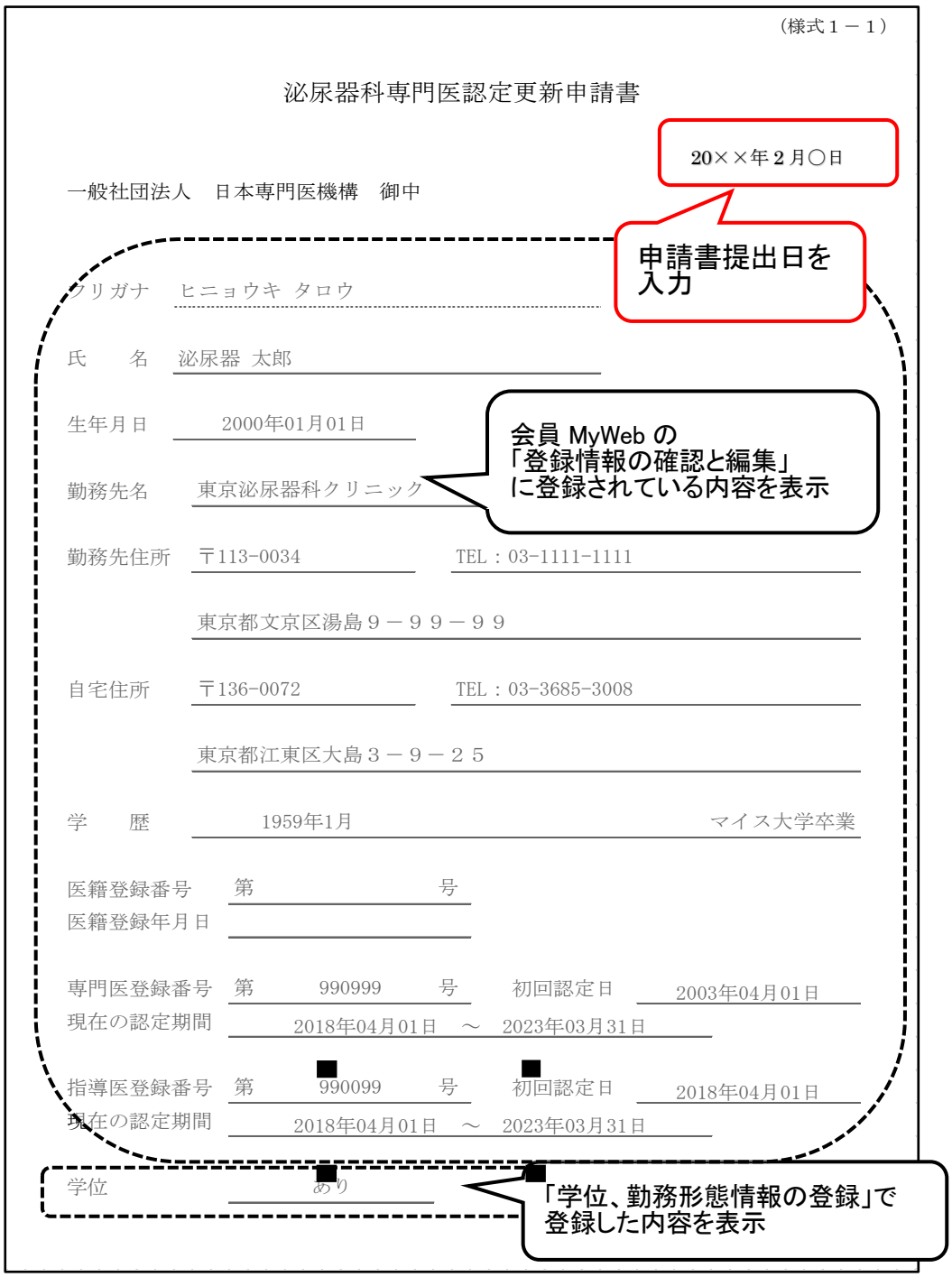
  - 登録情報の確認と編集（p.31）
  - 学位、勤務形態情報の登録（p.35）

- 青色のセルは、先生ご自身に入力いただくセルです。ご確認のうえ、ご入力ください。
- 青色セルは、入力後、セルの色が青から白色（色なし）に変わる場合もあります。白色に変わった後も、修正入力ができます。
- 印刷後、青色セル部分を手書きいただいても構いません。
- 印刷後、白色セル部分を手書きで修正しないでください。手書きで修正いただいても、各種登録情報は修正されません。

1. 泌尿器科専門医認定更新申請書（様式1-1）

専門医更新のみ	提出が必要
専門医更新＋指導医初回/更新	提出が必要

- 申請日を入力してください。
- 氏名から指導医認定期間まで、会員MyWebの「登録情報の確認と編集」に登録されている内容を表示します。誤りがある場合は、先に「登録情報の確認と編集」で修正してください。
- 学位は、「学位、勤務形態情報の登録」で登録した内容を表示します。



2. 勤務実態の自己申告（様式1-2）

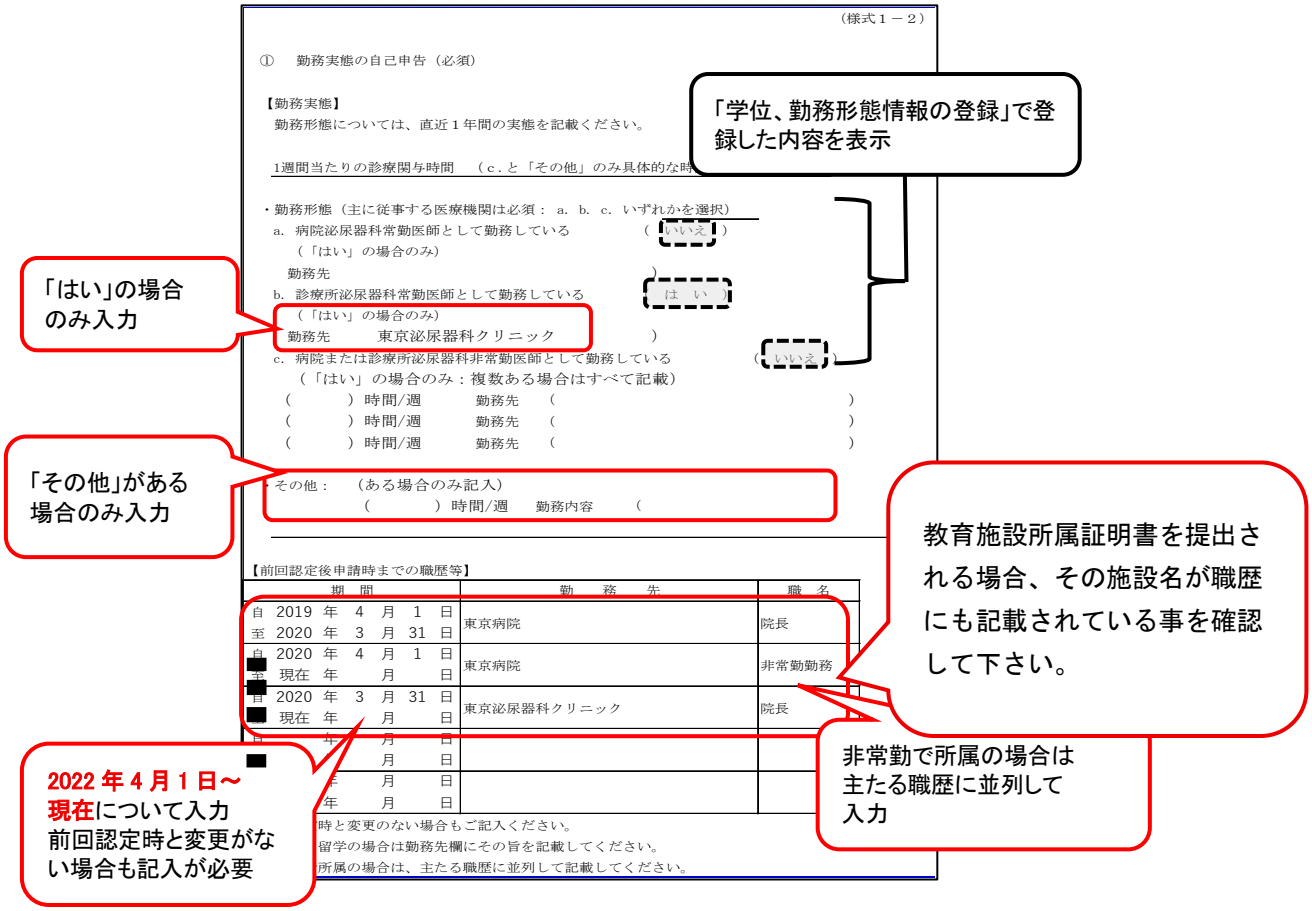
専門医更新のみ	提出が必要
専門医更新＋指導医初回/更新	提出が必要

【勤務実態】

- 直近1年間の実態を入力してください。何らかの理由で直近1年間の勤務実態がない場合は、最近の5年間のうちで泌尿器科として勤務していた直近1年間の実態を入力してください。
- 勤務形態（a、b、c）は、「学位、勤務形態情報の登録」で登録した内容を「はい」または「いいえ」として表示します。a、b、cのうち「はい」の項目のみ、勤務時間や勤務先を入力してください。
- その他は、ある場合のみ入力してください。

【前回認定後申請時までの職歴等】

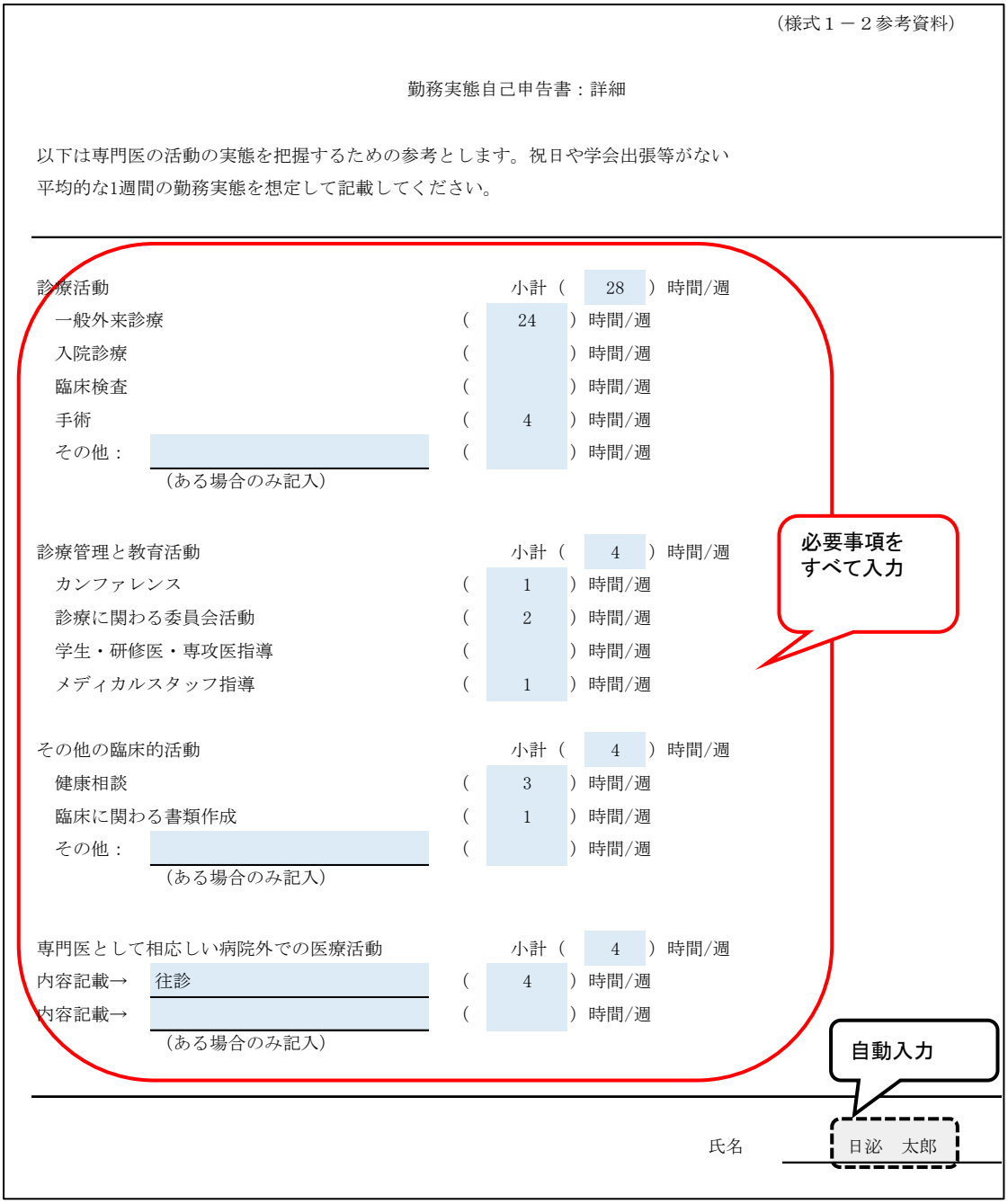
- 2022年4月1日から現在（申請書提出日）までについて入力してください。
  2022年4月以前より変更のない場合も、必ず入力してください。
- セカンドオピニオン外来、老人介護・福祉施設などでの診療や往診なども含みます。
- 未入力の期間のないよう、「開業準備」「無職」等も入力してください。
- 期間の最後は「現在」または2027年3月31日まで見込まれる場合はそのように入力してください。記載がない（空欄）場合、申請日提出日までの職歴が記載されているか不明のため、書類不備となる場合があります。



3. 勤務実態自己申告書：詳細（様式1-2 参考資料）

専門医更新のみ	提出が必要
専門医更新＋指導医初回/更新	提出が必要

・ 必要事項をすべて入力してください。



4. 単位集計表（様式1-3）

専門医更新のみ	提出が必要 （全 2 ページ）
専門医更新＋指導医初回/更新	提出が必要 （全 2 ページ）

※単位数等は、「①単位等確認」で確認できる内容を表示します。

1. 専門医更新テスト
   「合格」の表示があること
2. 総会または地区総会　参加
   1回以上の参加が必要
3. 機構研修単位（40単位 or 50単位）

（ｉ）診療実績の証明　（免除 or 10単位）

・「NCD登録症例証」「手術症例一覧表」「症例一覧表」のいずれか、あるいは併用して100症例（10単位）が必要。

・「免除」を選択された場合は「診療従事証明書」の提出が必要。

（ii）共通講習

・2021年以前に専門医を取得した先生：共通講習Aのみ必須（3単位～10単位）

・2022年以降に専門医を取得した先生：共通講習A,Bが必須（8単位～10単位）

（iii）泌尿器科領域講習（15単位以上）

（iv）学術業績・診療以外の活動実績（3～15単位）

・参加単位の上限は6単位。それ以上取得しても申請用単位数にはならない。

4. （ii）共通講習＋iii）泌尿器科領域講習　の講習単位内訳

・卒後教育プログラムによる取得単位の割合が40%以上のこと。
（卒後プログラムは総会・地区総会・eラーニングで受講したもの）

5. 指導医教育コース

・指導医初回、指導医更新は1回以上の受講が必要。

6. 業績目録

・指導医初回：5件以上、うち1件は筆頭
・指導医更新：5件以上（すべて連名または筆頭でも可）
・業績は査読でも可（連名・筆頭の区別なし）

専門医のみ更新の場合は１～４、指導医の申請／更新もある場合は１～６すべての右側に【専門医更新 OK】の表示がある事を確認して下さい。

【NG】は単位が不足しているカテゴリーに表示されます。



(様式1-3)

機構専門医（更新）・指導医　単位集計表

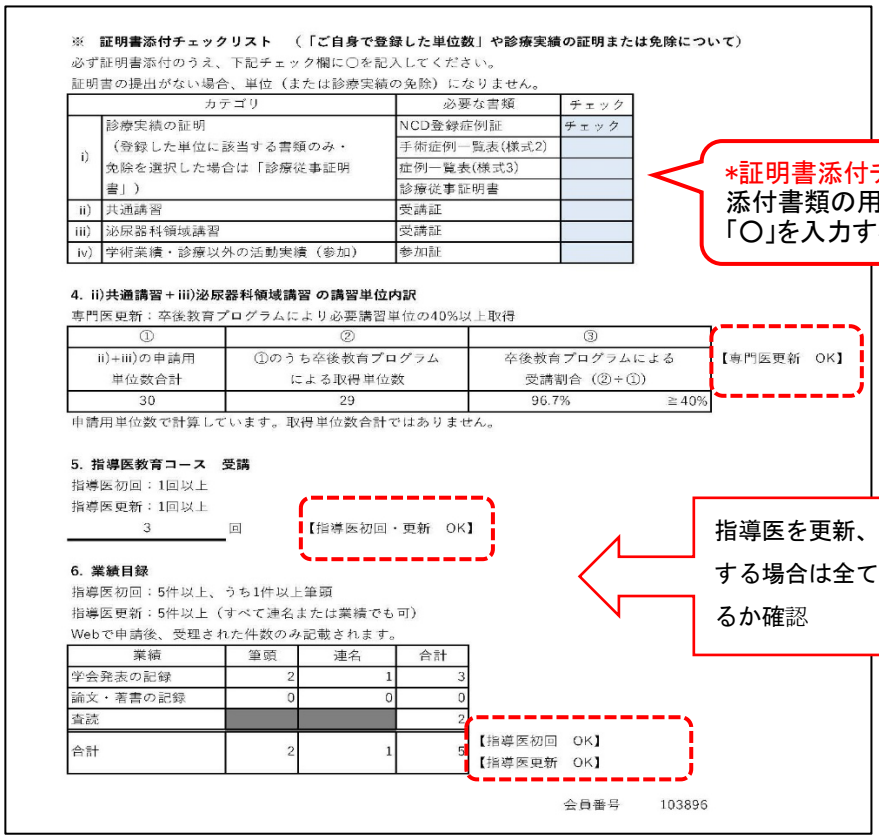
会員番号：103896　泌尿器 太郎　様

1. 専門医更新テスト
合格　【専門医更新　OK】

2. 総会または地区総会　参加
専門医更新：1回以上
3 回　【専門医更新　OK】

3. 機構研修単位

カテゴリ				自動登録された単位数	ご自身で登録した単位数（証明書の提出が必要）	取得単位数合計	申請用単位数	
i)	診療実績の証明（10単位）	NCD登録症例証			10	10	10	
		手術症例一覧表(様式2)			0	0	0	
		症例一覧表(様式3)			0	0	0	
		i) 計			10	10	10	【専門医更新　OK】
ii)	共通講習（3～10単位）	必修講習A（各1単位以上）	医療安全	5	1	6		【専門医更新　OK】
			感染対策	5	2	7		【専門医更新　OK】
			医療倫理	5	0	5		【専門医更新　OK】
		必修講習B	医療制度と法律	1	1	2		
			地域医療	1	1	2		
			医療福祉制度	1	1	2		
			医療経済（保険医療等）	4	1	5		
			両立支援	0	1	1		
		任意講習C	臨床研究・臨床試験	0	1	1		
			災害医療	0	1	1		
		ii) 計		22	10	32	15	【専門医更新　OK】
iii)	泌尿器科領域講習（15単位以上）			162	3	165	20	【専門医更新　OK】
iv)	学術業績・診療以外の活動実績（3～15単位）	学術集会の参加（3～6単位）		104	5	109		【専門医更新　OK】
		その他		4	0	4		
		iv) 計		108	5	113	15	【専門医更新　OK】
合計（50単位-iが免除の場合40単位）				292	28	320	50	【専門医更新　OK】



※　**証明書添付チェックリスト**　（**「ご自身で登録した単位数」や診療実績の証明または免除について**）

必ず証明書添付のうえ、下記チェック欄に〇を記入してください。

証明書の提出がない場合、単位（または診療実績の免除）になりません。

カテゴリ		必要な書類	チェック
i)	診療実績の証明 （登録した単位に該当する書類のみ・免除を選択した場合は「診療従事証明書」）	NCD登録症例証	チェック
		手術症例一覧表(様式2)	
		症例一覧表(様式3)	
		診療従事証明書	
ii)	共通講習	受講証	
iii)	泌尿器科領域講習	受講証	
iv)	学術業績・診療以外の活動実績（参加）	参加証	

*証明書添付チェックリスト
添付書類の用意ができたら
「〇」を入力する

4. ii)共通講習＋iii)泌尿器科領域講習 の講習単位内訳

専門医更新：卒後教育プログラムにより必要講習単位の40%以上取得

①	②	③	
ii)+iii)の申請用単位数合計	①のうち卒後教育プログラムによる取得単位数	卒後教育プログラムによる受講割合（②÷①）	
30	29	96.7%	≧40%

【専門医更新　OK】

申請用単位数で計算しています。取得単位数合計ではありません。

5. 指導医教育コース　受講

指導医初回：1回以上

指導医更新：1回以上

3　回

【指導医初回・更新　OK】

6. 業績目録

指導医初回：5件以上、うち1件以上筆頭

指導医更新：5件以上（すべて連名または業績でも可）

Webで申請後、受理された件数のみ記載されます。

業績	筆頭	連名	合計
学会発表の記録	2	1	3
論文・著書の記録	0	0	0
査読			2
合計	2	1	5

【指導医初回　OK】
【指導医更新　OK】

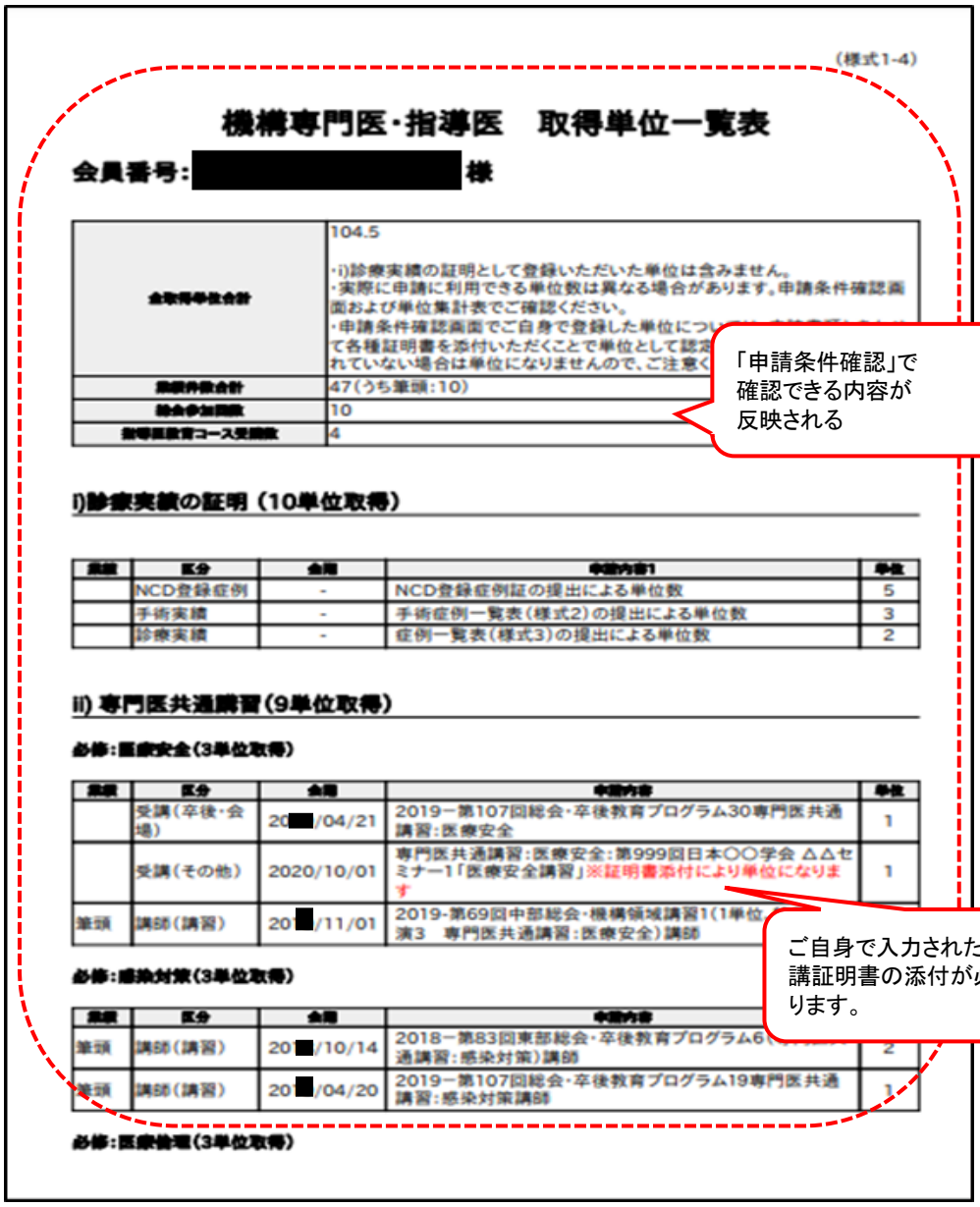
会員番号　103896

指導医を更新、あるいは申請する場合は全て OK になっているか確認

取得単位一覧表（様式 1-4）

専門医更新のみ	提出が必要
専門医更新＋指導医初回/更新	提出が必要

・　複数枚にわたる場合は、すべて提出してください。



（様式1-4）

機構専門医・指導医　取得単位一覧表

会員番号：[redacted] 様

合取得単位合計	104.5 ・i)診療実績の証明として登録いただいた単位は含みません。 ・実際に申請に利用できる単位数は異なる場合があります。申請条件確認画面および単位集計表でご確認ください。 ・申請条件確認画面でご自身で登録した単位につい て各種証明書を添付いただくことで単位として認定 れていない場合は単位になりませんので、ご注意く
取得件数合計	47（うち筆頭：10）
総会参加回数	10
指導医教育コース受講数	4

「申請条件確認」で確認できる内容が反映される

i)診療実績の証明（10単位取得）

筆頭	区分	会期	申請内容1	単位
	NCD登録症例	-	NCD登録症例証の提出による単位数	5
	手術実績	-	手術症例一覧表（様式2）の提出による単位数	3
	診療実績	-	症例一覧表（様式3）の提出による単位数	2

ii) 専門医共通講習（9単位取得）

必修：医療安全（3単位取得）

筆頭	区分	会期	申請内容	単位
	受講（卒後・会場）	20[redacted]/04/21	2019－第107回総会・卒後教育プログラム30専門医共通講習：医療安全	1
	受講（その他）	2020/10/01	専門医共通講習：医療安全：第999回日本〇〇学会 △△セミナー1「医療安全講習」※証明書添付により単位になります	1
筆頭	講師（講習）	20[redacted]/11/01	2019-第69回中部総会・機構領域講習1（1単位 演3　専門医共通講習：医療安全）講師	

ご自身で入力された講習は受講証明書の添付が必要になります。

必修：感染対策（3単位取得）

筆頭	区分	会期	申請内容	単位
筆頭	講師（講習）	20[redacted]/10/14	2018－第83回東部総会・卒後教育プログラム6 通講習：感染対策）講師	2
筆頭	講師（講習）	20[redacted]/04/20	2019－第107回総会・卒後教育プログラム19専門医共通講習：感染対策講師	1

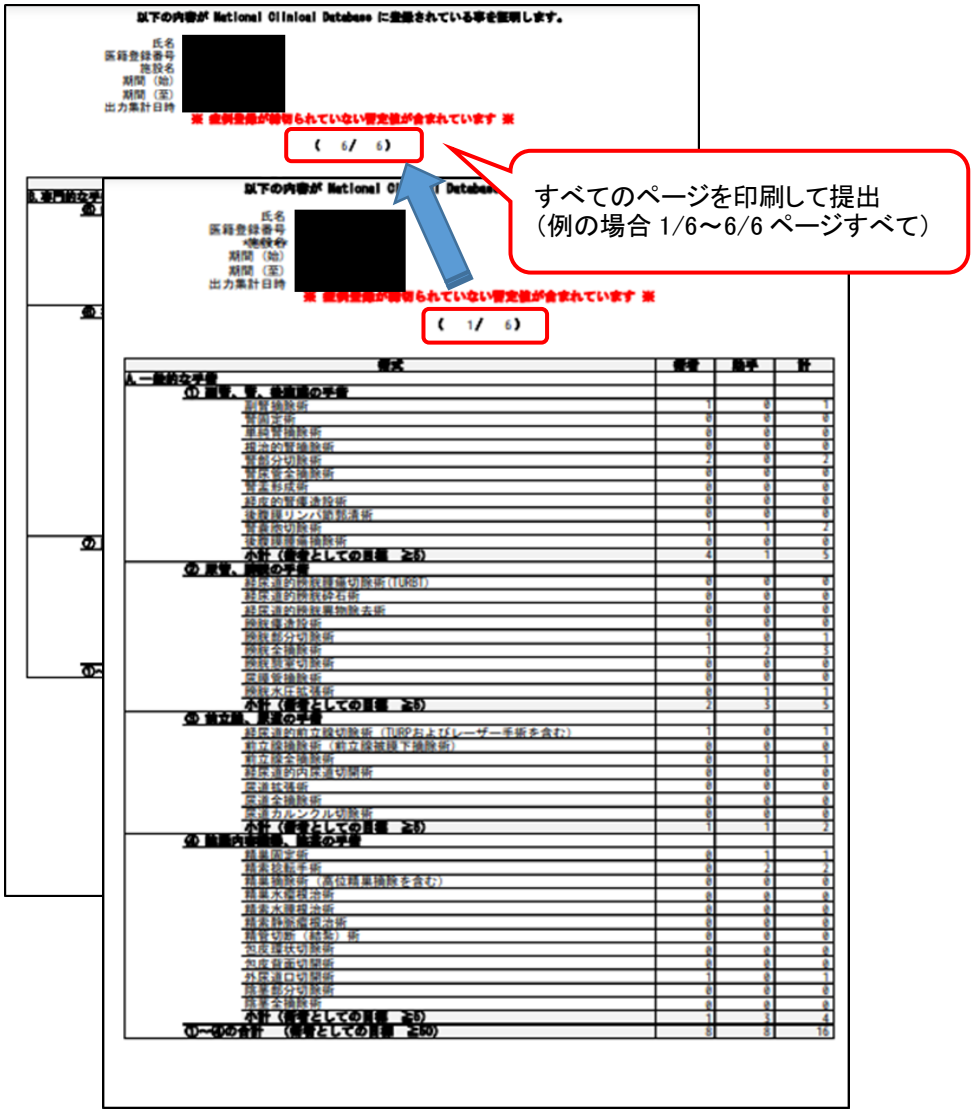
必修：医療倫理（3単位取得）

5. i)診療実績の証明　添付書類

	(A)NCD 登録症例証	(B)手術症例一覧表(様式 2)	(C)症例一覧表(様式 3)	免除
専門医更新	ご自身で登録した単位に応じた書類(A～C)の提出が必要です(登録していないものは不要)			(D)診療従事証明書
専門医更新＋ 指導医初回/更新				

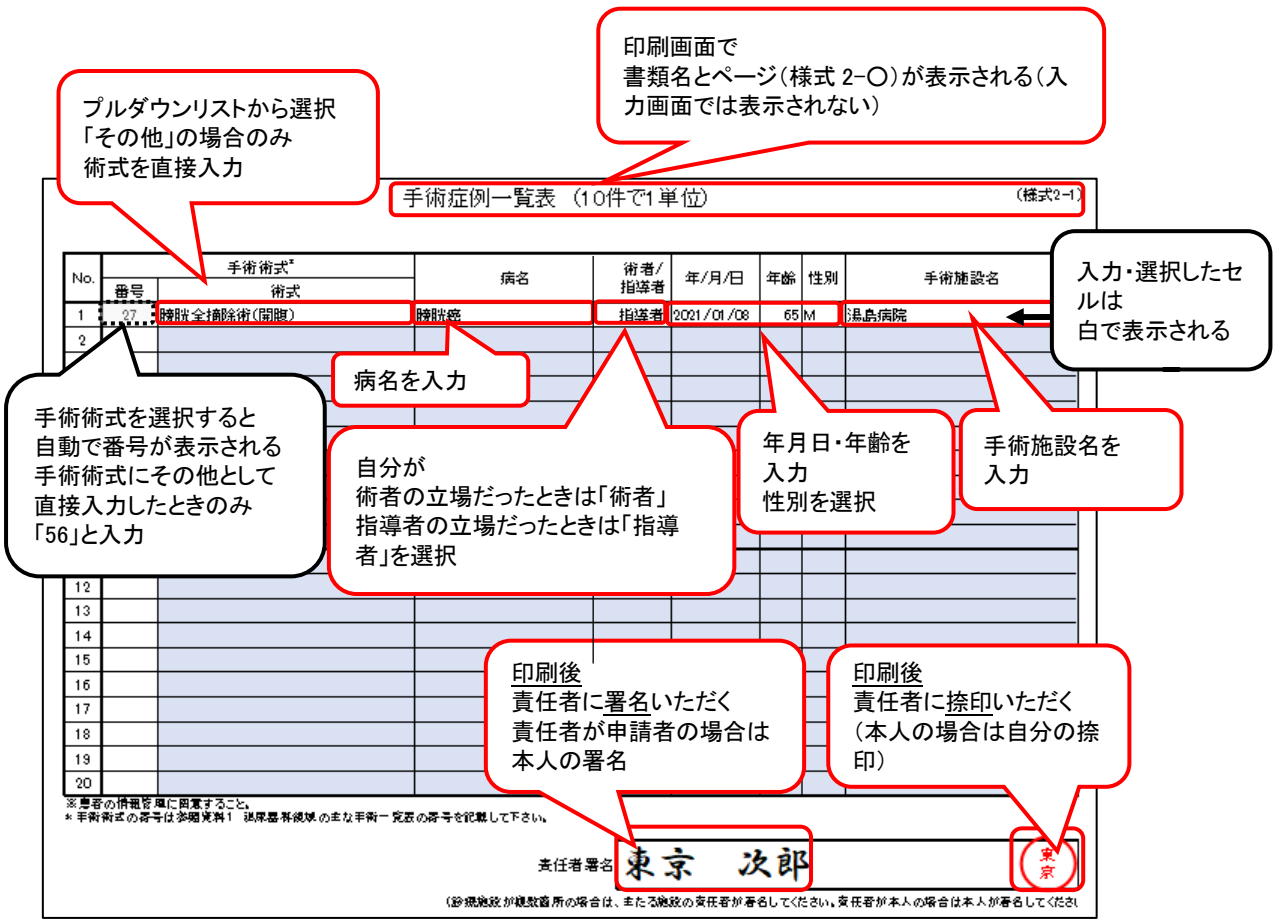
(A) NCD登録症例証

- 10例で1単位です。申請には10単位（100症例）が必要になります。
- NCDの関連団体所属医師専用システム「NCD-Person」からNCD登録症例証をダウンロード・印刷して、提出してください。合計・施設別と表示されますが、すべて提出してください。
  - ➢ NCD登録症例証について（p.58）



(B)　手術症例一覧表（様式2）

- 10例で1単位です。申請には10単位（100症例）が必要になります。
- 「手術症例一覧表（様式2）」の単位として登録する分のみ提出してください。
- 手術術式は「泌尿器科領域の主な手術一覧表」に記載のものが、プルダウンリストから選択できるようになっています。「その他」の場合のみ、手術術式を直接入力し、番号は「56」と入力してください。
  - ➢　泌尿器科領域の主な手術一覧表（p.48）
- 「その他」に生検は含みません。
- 内容に関するお問い合わせ（「その他」術式として〇〇は記入できるか、病名として〇〇は記入できるか等）は、事務局ではお答えすることができません。審査結果をお待ちください。
- 手術症例の単位として「NCD登録症例証」と「手術症例一覧表（様式2）」の単位をそれぞれ登録している場合（NCD登録期間外の症例を「手術症例一覧表（様式2）」で提出する場合など）、「NCD登録症例証」の症例を重複して入力しないでください。
- 複数の施設での症例をあわせて入力しても構いません。
- 「術者/指導者」欄は、自分が術者、指導する立場ではない助手だった場合は「術者」を選択してください。指導する立場だった場合は「指導者」を選択してください。この項目における指導者は「指導する立場の医師」という意味ですので、指導医資格の有無は問いません。
- 記入した一覧表にはご自身が診療した主たる施設の泌尿器科責任者の署名、捺印が必要です。責任者が本人の場合は本人が署名捺印してください。



泌尿器科領域の主な手術一覧表　＜様式2の参照資料＞

1　副腎摘除術（開腹）
2　副腎摘除術（鏡視下）
3　副腎摘除術（小切開）
4　経皮的腎・尿管砕石術（PNL）
5　体外衝撃波砕石術（ESWL）
6　腎部分切除術（開腹）
7　腎部分切除術（鏡視下）
8　腎部分切除術（小切開）
9　単純腎摘除術（開腹）
10　単純腎摘除術（鏡視下）
11　単純腎摘除術（小切開）
12　根治的腎摘除術（開腹）
13　根治的腎摘除術（鏡視下）
14　根治的腎摘除術（小切開）
15　腎尿管全摘膀胱部分切除術（開腹）
16　腎尿管全摘膀胱部分切除術（鏡視下）
17　腎尿管全摘膀胱部分切除術（小切開）
18　腎盂形成術（開腹）
19　腎盂形成術（鏡視下）
20　腎盂形成術（小切開）
21　移植用腎採取術（開腹）
22　移植用腎採取術（鏡視下）
23　腎移植術
24　経尿道的尿管砕石術（TUL）
25　尿管膀胱吻合術（VUR防止手術を含む）
26　膀胱脱メッシュ修復術
27　膀胱全摘除術（開腹）
28　膀胱全摘除術（鏡視下）
29　膀胱全摘除術（小切開）
30　尿管皮膚瘻造設術（膀胱全摘除術を伴うもの）
31　尿管皮膚瘻造設術（膀胱全摘除術を伴わないもの）
32　回腸（結腸）導管造設術（膀胱全摘除術を伴うもの）
33　回腸（結腸）導管造設術（膀胱全摘除術を伴わないもの）
34　新膀胱造設術
35　経尿道的膀胱腫瘍切除術
36　尿道形成術
37　尿道下裂形成術
38　尿失禁手術（TVT、TOT）
39　精巣摘出術
40　停留精巣摘出術（開腹）
41　停留精巣摘出術（鏡視下）
42　高位精巣摘出術
43　精巣固定術（精巣捻転に対する）
44　停留精巣固定術
45　停留精巣固定術（鏡視下）
46　経尿道的前立腺切除術（TUR-P）
47　経尿道的前立腺核出術（HoLeP）
48　前立腺被膜下摘出術（開腹）
49　前立腺全摘除術（開腹）
50　前立腺全摘除術（鏡視下）
51　前立腺全摘除術（小切開）
52　ロボット支援下根治的前立腺全摘除術
53　ロボット支援下腎部分切除術
54　ブラッドアクセス造設術
55　CAPD用カテーテル設置
56　その他（それぞれ手術名を記載してください）

(C)　症例一覧表（様式3）

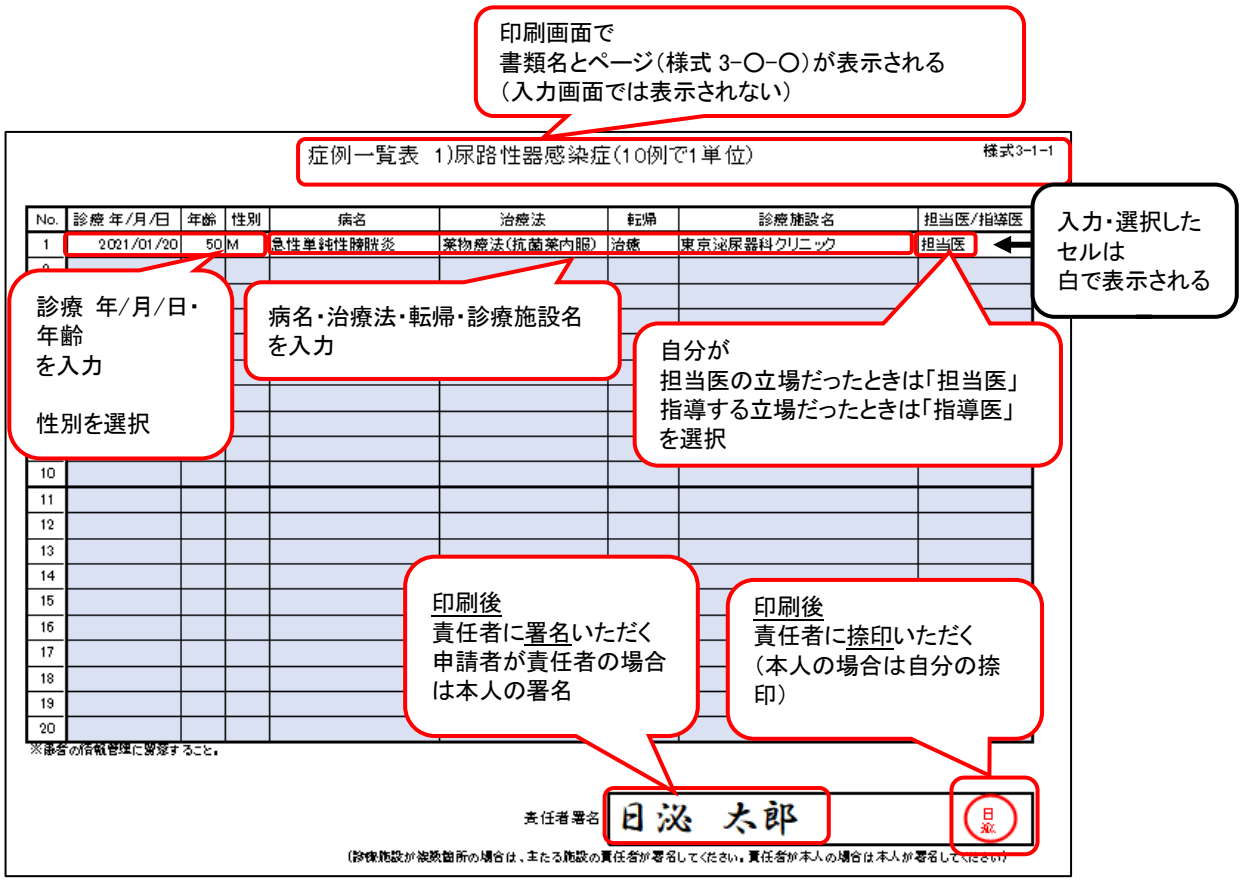
- 「症例一覧表（様式3）」の単位として登録する分のみ提出してください。
- 1領域10例毎で1単位です。領域は次の7つです。

  ①尿路性器感染症　②下部尿路機能障害　③尿路性器腫瘍　④尿路結石症
  ⑤慢性腎不全　⑥小児泌尿器科疾患　⑦不妊・アンドロロジー
- 複数の領域にまたがって合計が10例の場合、1単位とカウントされませんのでご注意ください。

  例：尿路性器感染症10例 → 1単位になる

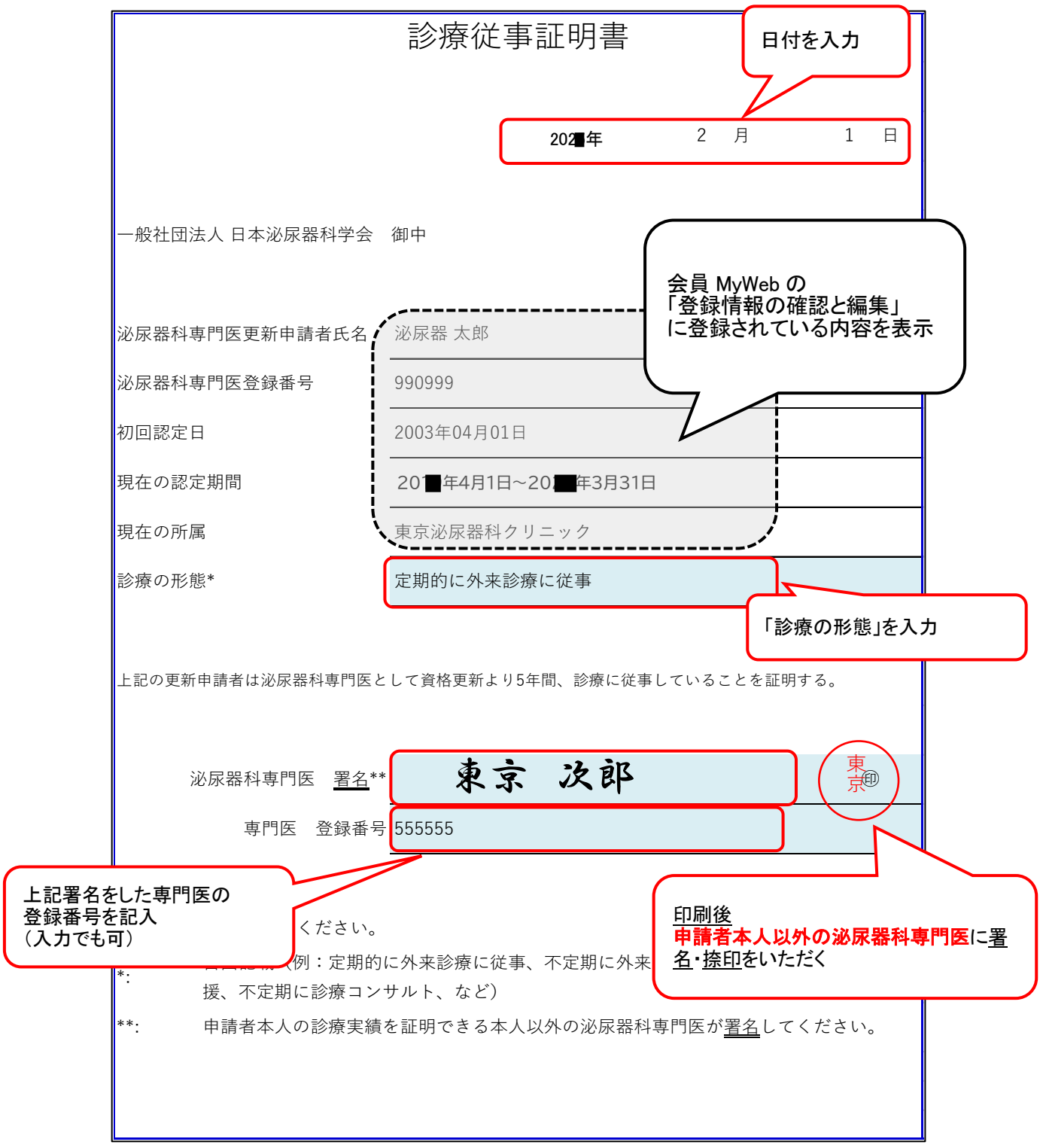
  　　尿路性器感染症8例+下部尿路機能障害2例 → 1単位にならない

- 症例は１つの領域で10単位（100症例）でも構いません。
- 診療症例は必ずしも初診でなくても構いませんが、泌尿器科専門医としてふさわしい疾患と診療内容のもので、同一人物の同一疾患のものが重複しないようにしてください。ただし、2つ以上の領域にまたがる場合は、それぞれを1例としてカウントすることができます。
- 内容に関するお問い合わせ（○○という病名は記入できるか、○○という治療法はどのように記入すればよいか等）は、事務局ではお答えすることができません。審査結果をお待ちください。
- 「担当医/指導医」欄は、自分が担当医だった場合は「担当医」、指導する立場だった場合は「指導医」を選択してください。この項目における指導医は「指導する立場の医師」という意味ですので、指導医資格の有無は問いません。
- 記入した一覧表にはご自身が診療した主たる施設の泌尿器科責任者の署名、　捺印が必要です。責任者が本人の場合は本人が署名捺印してください。



(D) 診療従事証明書

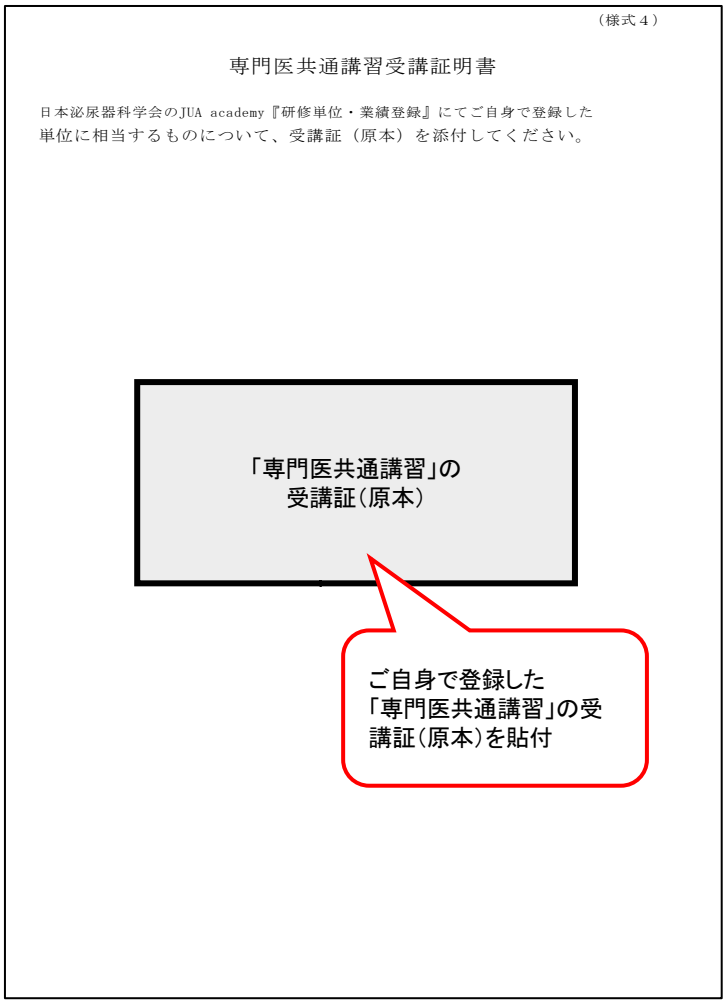
- 「免除」を選択した場合、提出してください。
- NCD 登録症例証、手術症例一覧表（様式 2）、症例一覧表（様式 3）の提出で 10 単位分を選択した場合、提出は必要ありません。
- 申請者本人以外の泌尿器科専門医の署名・捺印をいただいてください。泌尿器科専門医をお持ちでしたら、どなたでも結構です。学会専門医・機構専門医、指導医資格の有無、地域などは問いません。登録番号は署名・捺印をいただく専門医に記入いただいても、申請者が記入（または入力）しても、どちらでも構いません。



6. 共通講習受講証明書（様式4）

専門医更新のみ	ご自身で登録した「共通講習」の単位が ある場合のみ提出が必要
専門医更新＋指導医初回/更新	

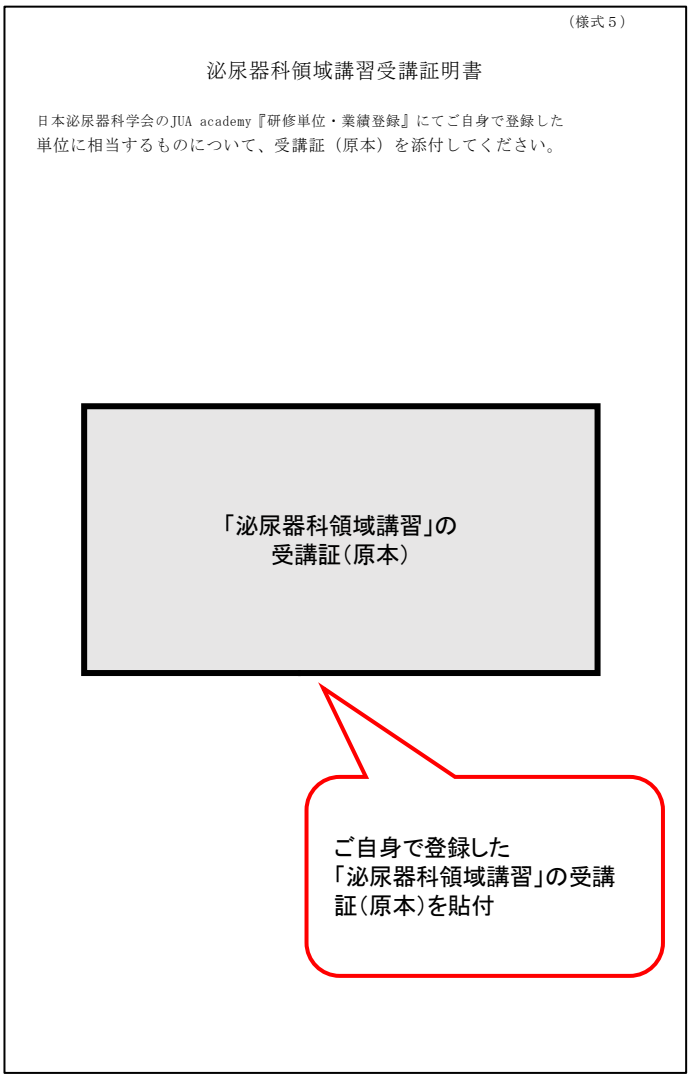
- ご自身で登録した「共通講習」の単位に該当する受講証（原本）を貼付して提出してください。（総会・地区総会で受講された共通講習は自動登録となっておりますので、受講証の添付は不要です。）
- 受講証は、①受講者の氏名 ②所属施設 ③講習の日時 ④講習主催学会等または施設 ⑤講習会名及び講習会テーマ ⑥講師名 ⑦講習主催責任者名あるいはそれに準ずるもの（講師名、講習テーマ等については資料添付の形式でも可）が記載され、主催者の捺印にて証明されたものとしてください。
- 受講証には氏名が記載されていることを確認してください。
- 受講証がA4サイズの場合は、貼付しないでそのままご提出ください。
- 受講証（原本）は申請書類を返却する際にあわせてお返しいたします。日本専門医機構における審査終了後となりますが、日程は未定です。それ以前に返却をご希望の場合は先に受講証のみお返しいたしますので、申請書類を提出される際にあわせてご連絡ください。



7. 泌尿器科領域講習受講証明書（様式5）

専門医更新のみ	ご自身で登録した「泌尿器科領域講習」の単位がある場合のみ提出が必要
専門医更新＋指導医初回/更新	

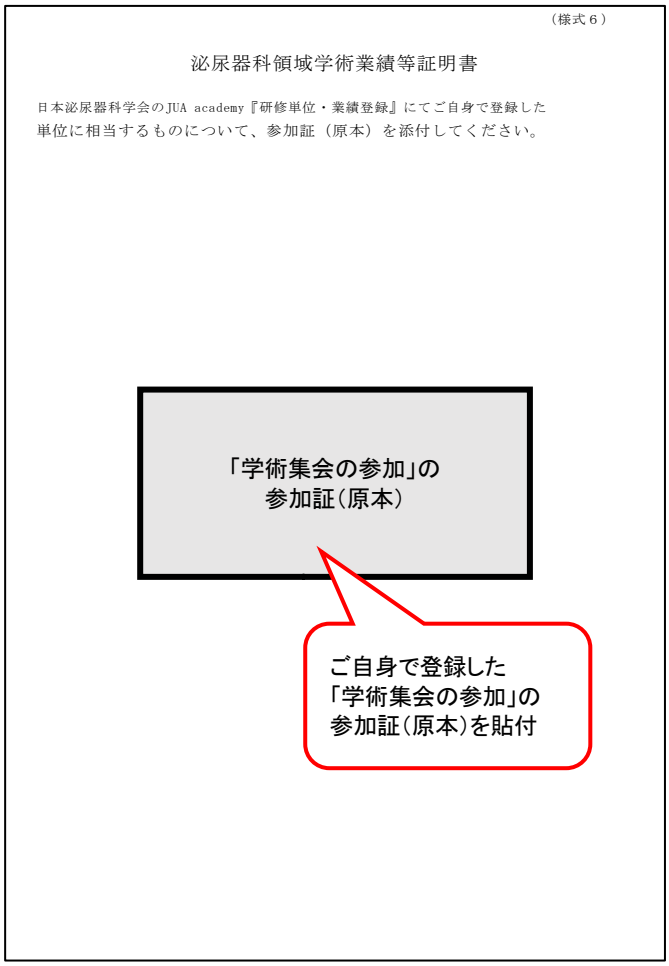
- ご自身で登録した「泌尿器科領域講習」の単位に該当する受講証（原本）を貼付して提出してください。（総会・地区総会で受講された領域講習は自動登録となっておりますので、受講証の添付は不要です。）
- 受講証には氏名が記載されていることを確認してください。
- 受講証がA4サイズの場合は、貼付しないでそのままご提出ください。
- 受講証は、①受講者の氏名 ②所属施設 ③講習の日時 ④講習主催学会等または施設 ⑤講習会名及び講習会テーマ ⑥講師名 ⑦講習主催責任者名あるいはそれに準ずるもの（講師名、講習テーマ等については資料添付の形式でも可）が記載され、主催者の捺印にて証明されたものとしてください。
- 受講証（原本）は申請書類を返却する際にあわせてお返しいたします。日本専門医機構における審査終了後となりますが、日程は未定です。それ以前に返却をご希望の場合は先に受講証のみお返しいたしますので、申請書類を提出される際にあわせてご連絡ください。



8. 泌尿器科領域学術業績等証明書（様式6）

専門医更新のみ	ご自身で登録した「学術集会の参加」の単位がある場合のみ提出が必要
専門医更新＋指導医初回/更新	

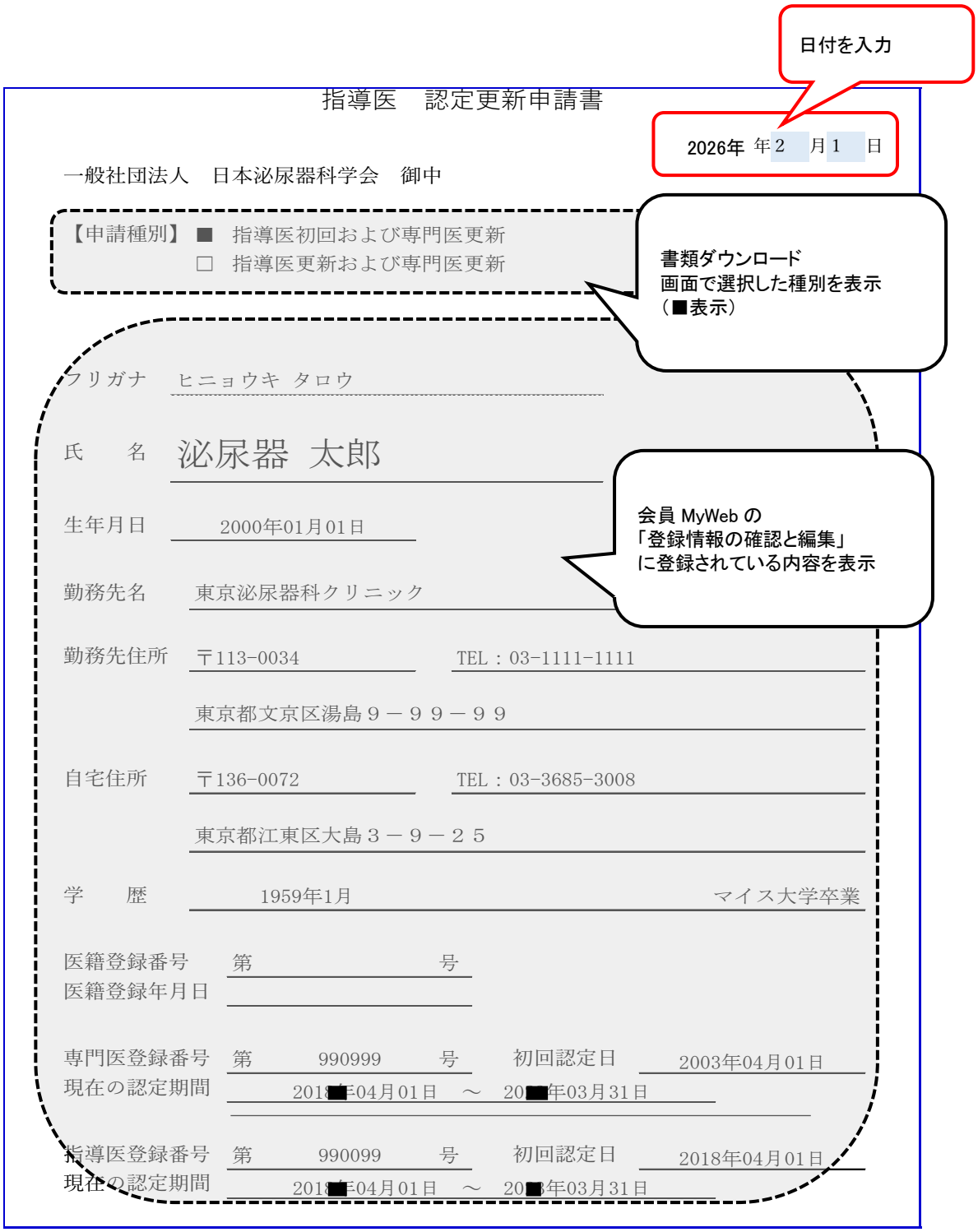
- ご自身で登録した「学術集会の参加」の単位に該当する参加証（原本）を貼付して提出してください。ただし総会、地区総会、地方会については自動登録で参加単位がつきますので、対象外となります。
- 参加証には氏名が記載されていることを確認してください。
- 参加証がA4サイズの場合は、貼付しないでそのままご提出ください。
- 参加証（原本）は申請書類を返却する際にあわせてお返しいたします。日本専門医機構における審査終了後となりますが、日程は未定です。それ以前に返却をご希望の場合は先に参加証のみお返しいたしますので、申請書類を提出される際にあわせてご連絡ください。



9. 指導医認定更新申請書

専門医更新のみ	不要
専門医更新＋指導医初回/更新	提出が必要

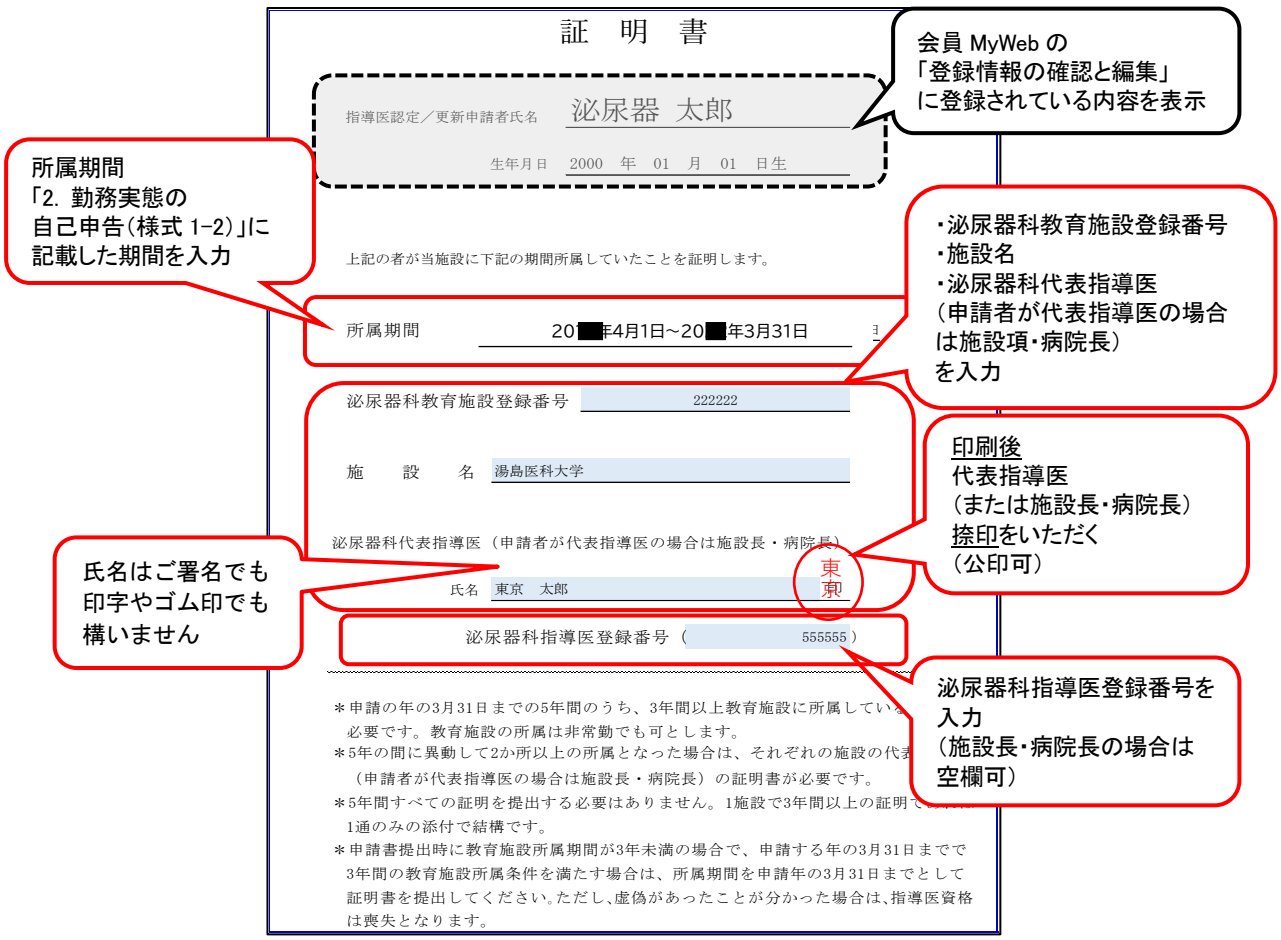
・書類をダウンロードする前に、申請種別を選択してください。
（申請種別は「③申請書類」の「申請書類ダウンロード」より選択できます）



11.教育施設所属証明書

専門医更新のみ	不要
専門医更新＋指導医初回/更新	提出が必要

- 5年間すべての期間の証明がなくても、3年以上教育施設に所属している証明があれば構いません。
- 1か所で3年以上の所属がない場合は、それぞれの教育施設の証明書を提出してください。
  ＊例：2施設で3年間となる場合　　2施設分（合計2通）必要
- 期間は「2. 勤務実態の自己申告（様式1-2）」に記載した期間を入力してください。期間の終了日を「現在」とした場合で、2027年3月31日までの所属が見込まれている場合、2027年3月31日と記載していただいても構いません。ただし、虚偽があることがわかった場合は、指導医資格を喪失します。
- 教育施設の代表指導医（申請者が代表指導医の場合は施設長または病院長）の捺印をいただいてください（公印可）。施設長または病院長に捺印をいただく場合、指導医登録番号は空欄で結構です。
- 施設が教育施設として認定されていない期間は、所属期間とみなされません。
- 代表指導医の変更後、教育施設システムで変更手続きをされていない場合があります。教育施設システムで変更手続き後、代表指導医に捺印をいただいてください。
  - ➢　教育施設システム（https://www.urol.or.jp/education/login.aspx）



払込受領証（審査料・認定料等）のコピー

専門医更新のみ	提出が必要
専門医更新＋指導医初回/更新	提出が必要

- 審査料等を入金後、受領証（または利用明細）のコピーを申請書類に添付してご提出ください。
- 払込用紙を紛失された場合は、郵便局にて払込用紙（青色）をご利用の上、お振込みください。
  - ➢ 審査料等のお振込み（p.6）

会員カードから 会員証アプリ「JUA Members」への切り替えについて

- 会員カード更新の替わりに、会員証アプリのご登録をお願い致します。
  （参照：同封リーフレット、HP＞トップページ＞JUA　membersボタン）
- お顔写真の登録・更新については、ご自身でPCまたはスマートフォンから、会員MyWebにて顔写真を更新して頂けますので、カラー証明写真のご提出は不要です。
- スマートフォン或いはタブレット端末をご使用でないため会員証アプリを登録出来ない場合は、携帯電話やPCで、会員MyWebの「QRコード表示」メニューをご利用下さい。
- 従来のプラスチック製会員カードの更新は致しません。

受付通知について

書類に不備がなかった場合

- 〈研修単位・業績登録〉の「TOP」にある「審査に関する連絡事項」に、受付通知を表示します。
- 同時に登録しているメールアドレス（Email 1）宛にメールが送信されます。届いていない場合は、迷惑メール扱いになっていて受信できない、受信しても迷惑メールフォルダへ振り分けられている、受信拒否設定になっている等が考えられます。



書類に不備があった場合

- メール等でご連絡いたします。速やかに追加書類等をご提出ください。

NCD登録症例証について

NCD登録症例証の注意点

- NCD（National Clinical Database）の関連団体所属医師専用システム「NCD-Person」から、NCD登録症例証をダウンロードいただけます。
- NCD登録が開始されたのは2018年4月1日からですが、実際の登録開始時期は施設によって異なります。
- NCD集計期間外の症例をi)診療実績の証明の単位とする場合は、手術症例一覧表（様式2）をご利用ください。
- NCD登録症例証には、ステータスが「完了（承認済）」となっている症例のみ表示されます。「完了（未承認）」「編集中」のものは表示されません。
- NCDに関するお問い合わせは、NCD-Personにあるお問い合わせフォームからお願いいたします。内容により、NCD事務局または日本泌尿器科学会よりご連絡させていただきます（例：NCD-Personの利用手順について等）。
- NCDの症例登録の内容に関するお問い合わせは、登録されている施設のご担当者へお願いいたします（例：○○という症例が登録されていない等）。

NCD-Person　認証手続き（はじめて利用する場合）

1. 認証手続き前に下記事項を確認してください。
   ① 日本泌尿器科学会の会員番号とパスワード
   会員番号は、会員カードや日本泌尿器科学会からの郵送物の宛名ラベル（右下）で確認できます。パスワードをお忘れの場合は、日本泌尿器科学会の会員MyWebログイン画面にある「パスワードをお忘れの方はこちら」から手続きをしてください。
   ➢ 会員MyWebログイン方法（p.9）
   ② 医籍登録番号
   お手元に医籍登録番号が記載されている書類（医師免許等）がない場合、日本泌尿器科学会の会員MyWeb「登録情報の確認」（または「登録情報の確認と編集」）で確認することもできます。
   医籍登録番号に関してはお電話やメール等による回答はいたしかねますのでご了承願います。
   ➢ 登録情報の確認と編集（p.31）
   ③ 日本泌尿器科学会にE-mail 1 として登録しているメールアドレス
   NCD-Personで使用するメールアドレスは、日本泌尿器科学会にE-mail 1として登録されているメールアドレスです。手続きを進める過程で認証メール等が送信されるので、必ずご確認ください。日本泌尿器科学会の会員MyWeb「登録情報の確認」（または「登録情報の確認と編集」）で、登録しているメールアドレスの確認・変更ができます。
   日本泌尿器科学会の会員MyWebとNCDのNCD-Personは別システムですので、会員MyWebで変更後、NCD-Personへ変更が即時反映されません。月に1度程度、更新作業が行われる予定です。
   ➢ 登録情報の確認と編集（p.31）

④　メールアドレスの受信設定
no-reply-ncd@ncd-core.jp からのメールが受信できるように設定されていることをご確認ください。

2. 日本泌尿器科学会ウェブサイト　会員MyWebにログインする
   - ➢ 会員MyWebログイン方法（p.9）

3. 「NCD関連」をクリックする



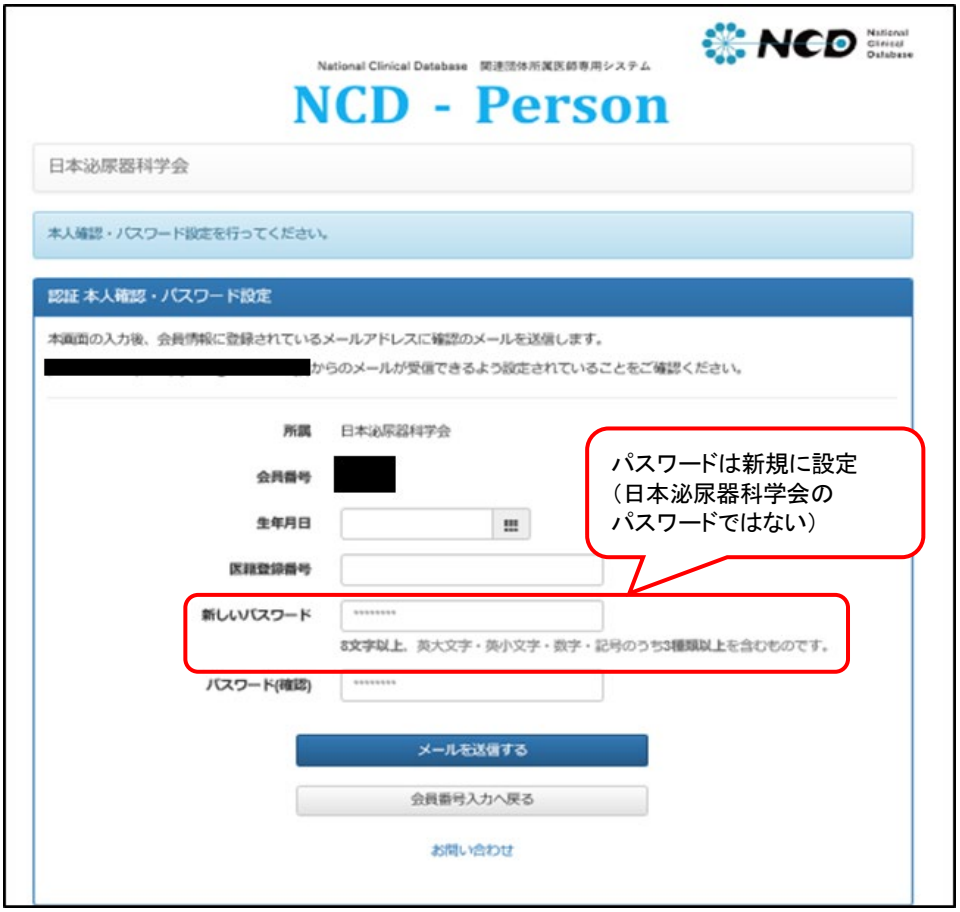
4. 「NCD登録症例証がダウンロードできる「NCD-Person」ログインサイトはこちらから 」をクリックする



5. 「認証　会員番号入力」画面が表示される
会員番号欄に日本泌尿器科学会の会員番号を入力して、「次へ」をクリックしてください。
※会員番号が“０「ゼロ」”から始まる場合、頭の“０”を取って入力して下さい。



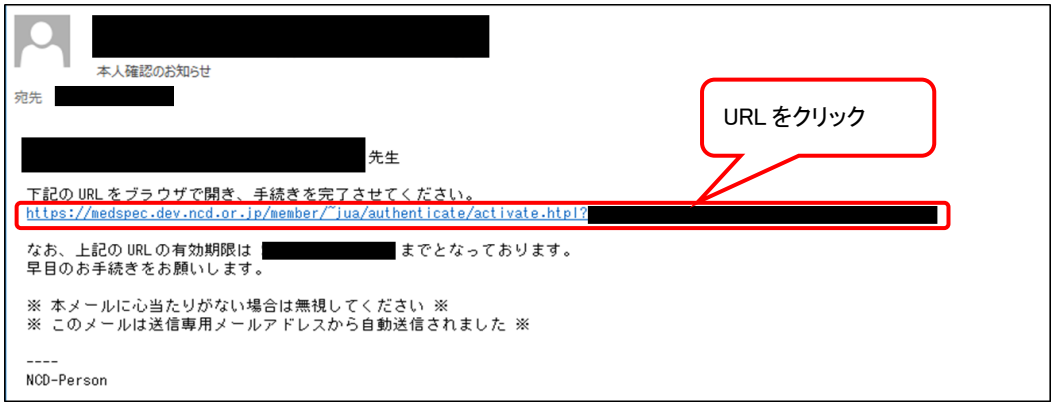
6. 「認証　本人確認・パスワード設定」画面が表示される
生年月日・医籍登録番号・新しいパスワードを入力して、「メールを送信する」をクリックしてください。



7. 「認証　メール送信完了」画面が表示される
日本泌尿器科学会に「Email 1」として登録されているメールアドレス宛に送信されます。



8. 認証メールが送られてくる
メールに記載されているURLをクリックして、リンク先へアクセスしてください。
メールが送られてこない場合は、メールアドレス（日本泌尿器科学会にE-mail 1として登録されているアドレス）、メールアドレスの受信設定を確認してください。受信後、迷惑メールフォルダへ振り分けられていることもありますので、ご注意ください。
URLの有効期限内にアクセスできなかった場合は、もう一度7までの手続きを行ってください。あらためて認証メールが送られてきます。



9. 「認証　パスワード確認」画面が表示される
6で設定したNCD-Person用のパスワードを入力してください。



ここまでで認証手続きは完了です。
手続きが完了すると自動的にログインし、機能選択メニューが表示されます。
手続き完了後、時間を置いてからNCD-Personを利用したい場合は、ログインし直す必要があります。その場合は、5以降の手順を改めて行って下さい。
なお、会員番号入力後はパスワード入力画面になります。
➢　NCD登録症例証　印刷方法（p.63）

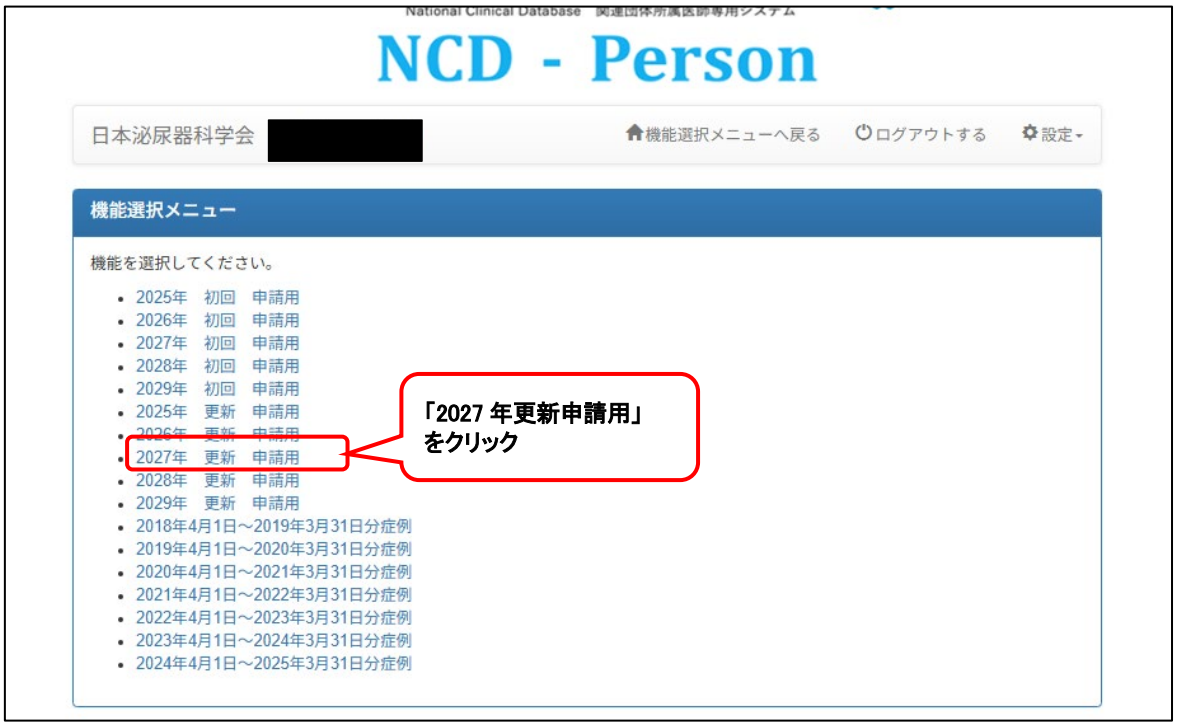
NCD登録症例証　印刷方法

1. NCD-Personにアクセスする
   アクセス方法は「NCD-Person認証手続き」を参照してください。
   - ➢ NCD-Person認証手続き（p.58）

2. 会員番号を入力する（頭に“０「ゼロ」”が付く場合は”0”を取った番号を入力）



3. 「機能選択メニュー」画面が表示される
   「2027年　更新　申請用」をクリックしてください。



4.「専門医術式（2027年更新申請用）」画面が表示される

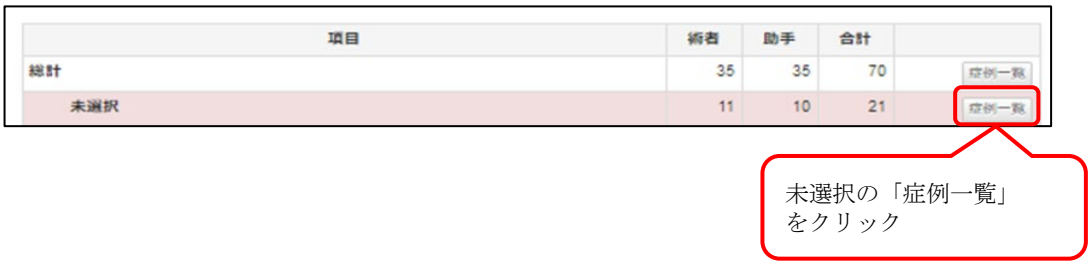
（＊以下のサンプル図は〇となっておりますが、選択した年度が表示されます。）

- 「合計」の数を確認してください。総計から未選択を除いた数を、NCD登録症例証による単位として登録できます。10例で1単位です。
- 一部は、複数の術式からご希望の術式を選べるようになっています（次項）。これらは、「未選択」として集計されています。未選択の場合、NCD登録症例証に表示（印刷）されません。i)診療実績の証明として申請できるのは、NCD登録症例証に記載されている数のみです。表示（印刷）するためには、術式を選択する必要があります。「未選択」があっても必要数を満たしている場合は、「未選択」のままでも構いません。
- NCD登録症例証には、ステータスが「完了（承認済）」となっている症例のみ表示されます。「完了（未承認）」「編集中」のものは表示されません。
- 「術者」「助手」は、専門医更新の場合は問いません。



5.【必要な場合のみ】「未選択」術式を選択する（不要な場合は7へ）

① 「未選択」の「症例一覧」をクリックする。



② 「症例一覧」画面が表示される

術式を選択したい症例の「専門医術式を選択する」をクリックしてください。



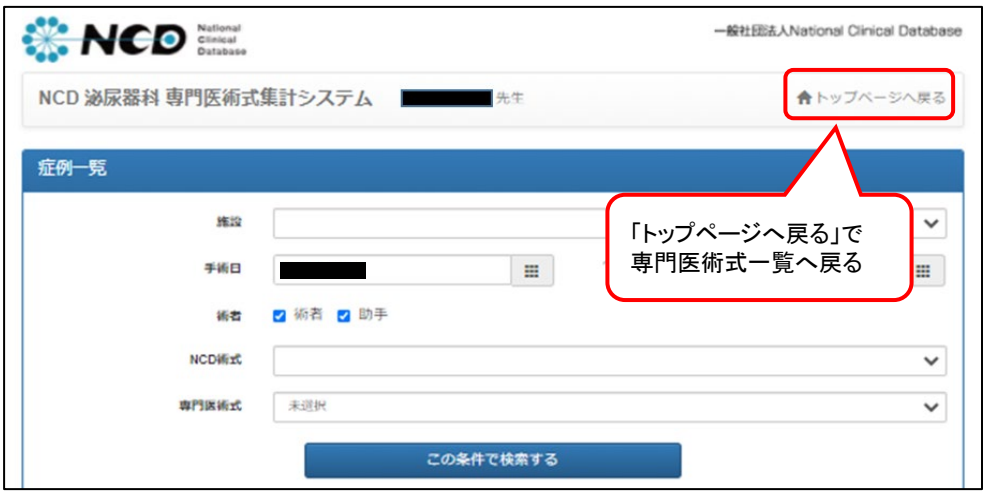
③　術式を選択して保存する

専門医更新の場合、「一般的な手術」「専門的な手術」どちらでも構いません。



④　結果が反映される

「トップページへ戻る」で専門医術式一覧へ戻り、変更が反映されていることが確認できます。





6. 【必要な場合のみ】一度選択した術式を変更する（不要な場合は7へ）

① 変更したい術式の「症例一覧」をクリックする



② 変更したい症例の「専門医術式を変更する」をクリックする

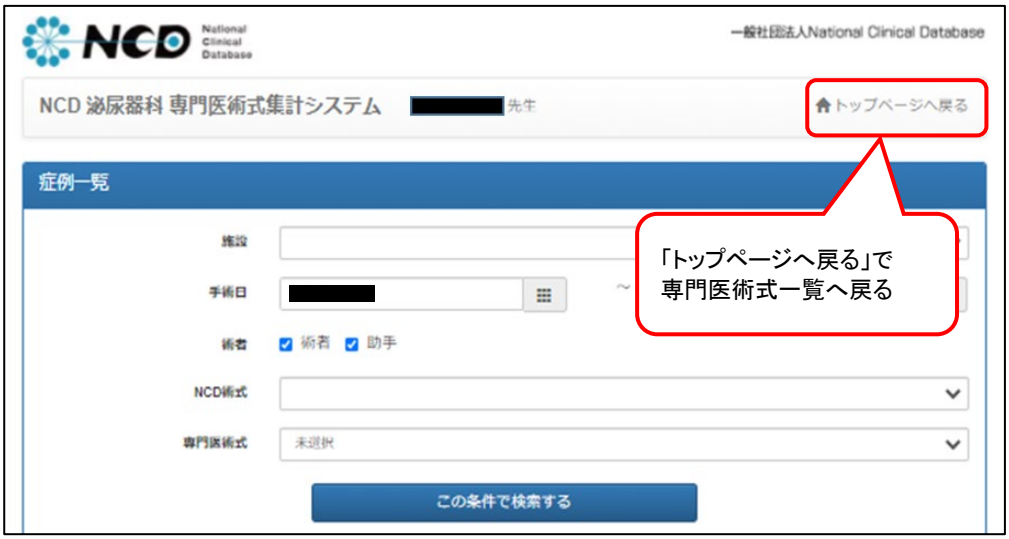


③　術式を選択し直して保存する



④　結果が反映される

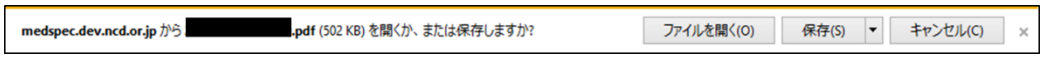
「トップページへ戻る」で専門医術式一覧へ戻り、変更が反映されていることが確認できます。



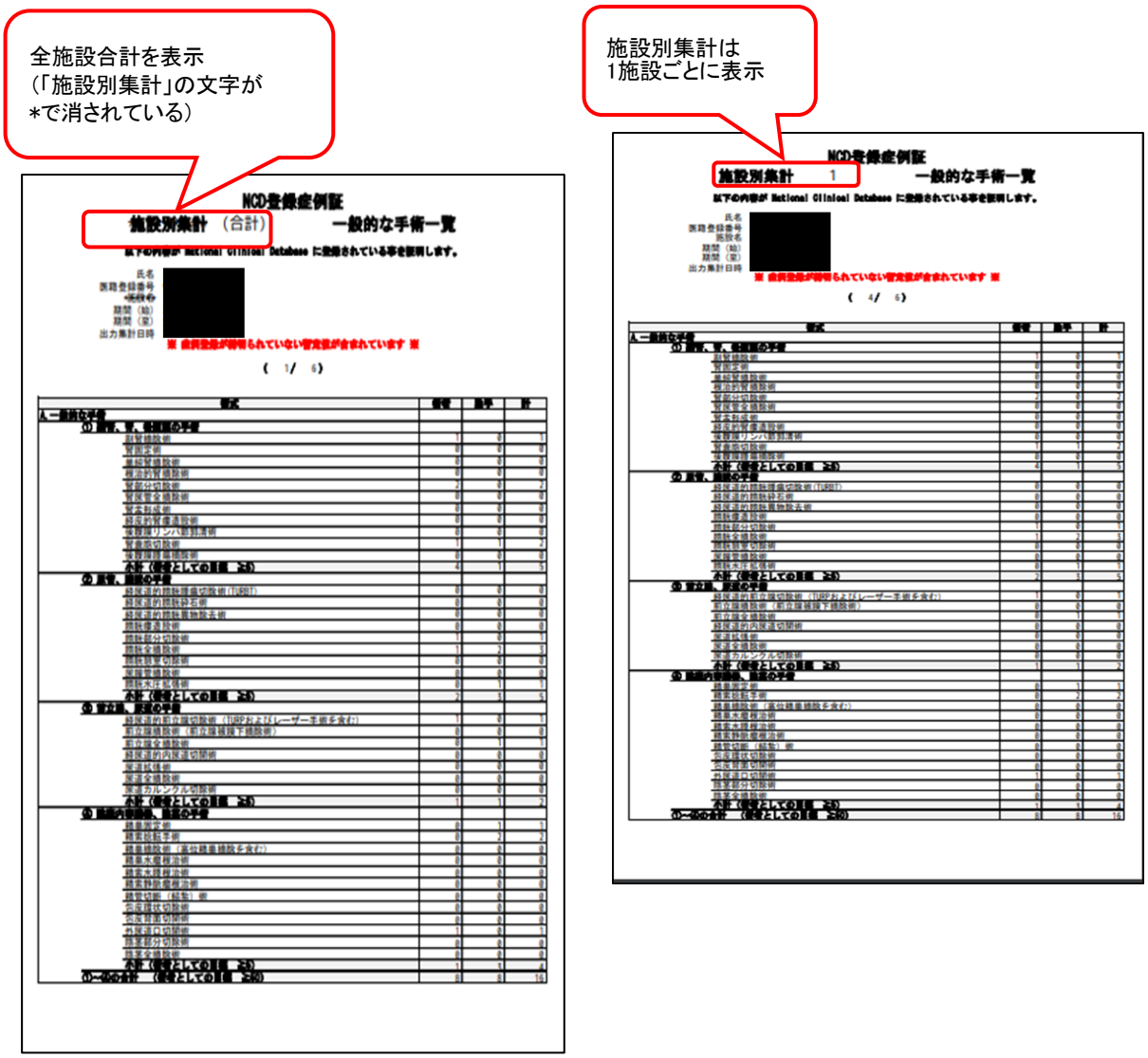


7. 「PDFをダウンロードする」をクリックする
「ファイルを開くか、または保存しますか？」というメッセージが表示されることがあります。「開く」または「保存」をして、次へ進んでください。「保存」した場合は、保存後、そのファイルを開いてください。





8. NCD登録症例証を印刷する
   - 合計（「施設別集計」という文字が＊で消されている）、施設別集計の順に1つのファイルにまとめて表示されます。
   - 合計、施設別集計ともあわせたすべてを提出してください。



9. 単位数を確認する

- 合計の「一般的な手術」「専門的な手術」の各「計」を合計した数を、NCD登録症例証による単位として申請できます。
- 「術者」「助手」は、専門医更新の場合は問いません。
- 項目によっては目標数値（≧5など）が記載されていますが、専門医更新の場合はこれらの目標数値は問いません。



申請書類提出チェックリスト

専門医更新のみ

○…全員必要　△…場合により必要

		書類名	注意事項
1	○	泌尿器科専門医認定更新申請書（様式 1-1）	
2	○	勤務実態の自己申告（様式 1-2）	
3	○	勤務実態自己申告書：詳細 （様式 1-2 参考資料）	
4	○	単位集計表（様式 1-3）	
5	○	取得単位一覧表（様式 1-4）	
6	○	NCD 登録症例証 手術症例一覧表（様式 2） 症例一覧表 （様式 3-1～7 のうち必要なページ）	【i)診療実績の証明が必要な場合】 合計 10 単位分必要 （必要な書類のみ提出）
		診療従事証明書	【i)診療実績の証明で「免除」を選択の場合】 提出が必要
7	△	共通講習受講証明書（様式 4）	「ご自身で登録した講習単位」がある場合のみ必要
8	△	泌尿器科領域講習受講証明書（様式 5）	「ご自身で登録した講習単位」がある場合のみ必要
9	△	泌尿器科領域学術業績等証明書（様式 6）	「ご自身で登録した学術集会参加単位」がある場合のみ必要
10	○	払込受領証（審査料・認定料等）のコピー	32,000 円（専門医更新のみ）

書類送付先

〒113-0034　東京都文京区湯島2-17-15　斉藤ビル5階
一般社団法人 日本泌尿器科学会　専門医制度審議会

必ず簡易書留またはレターパックプラス、配達確認のできる宅急便などでご送付ください。

専門医更新＋指導医初回または更新

○…全員必要　△…場合により必要

		書類名	注意事項
1	○	泌尿器科専門医認定更新申請書（様式 1-1）	
2	○	勤務実態の自己申告（様式 1-2）	
3	○	勤務実態自己申告書：詳細 （様式 1-2 参考資料）	
4	○	単位集計表（様式 1-3）	
5	○	取得単位一覧表（様式 1-4）	
6	○	NCD 登録症例証 手術症例一覧表（様式 2） 症例一覧表 （様式 3-1～7 のうち必要なページ）	【i)診療実績の証明が必要な場合】 合計 10 単位分必要 （必要な書類のみ提出）
		診療従事証明書	【i)診療実績の証明で「免除」を選択の場合】 提出が必要
7	△	共通講習受講証明書（様式 4）	「ご自身で登録した講習単位」がある場合のみ必要
8	△	泌尿器科領域講習受講証明書（様式 5）	「ご自身で登録した講習単位」がある場合のみ必要
9	△	泌尿器科領域学術業績等証明書（様式 6）	「ご自身で登録した学術集会参加単位」がある場合のみ必要
10	○	指導医認定更新申請書	
11	○	教育施設所属証明書	
12	○	払込受領証（審査料・認定料等）のコピー	47,000 円（専門医更新＋指導医申請/更新）

書類送付先

〒113-0034　東京都文京区湯島2-17-15　斉藤ビル5階
一般社団法人 日本泌尿器科学会　専門医制度審議会

必ず簡易書留またはレターパックプラス、配達確認のできる宅急便などでご送付ください。